

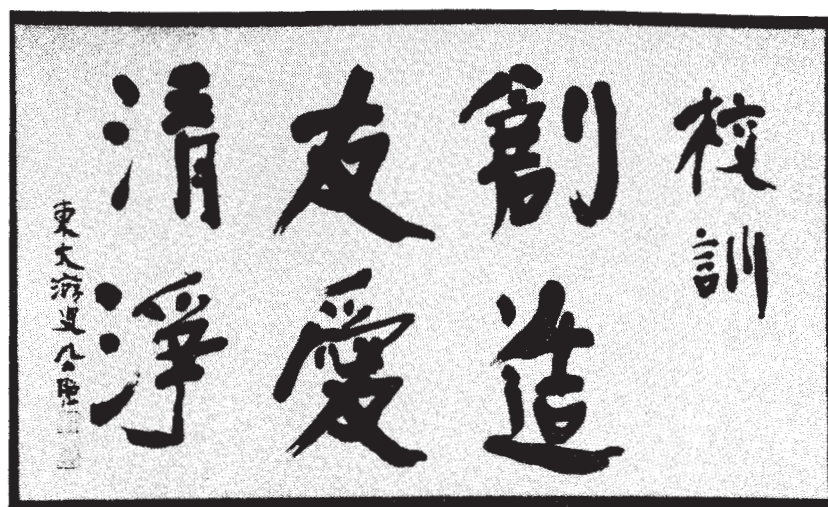
令和4年度

学校要覧



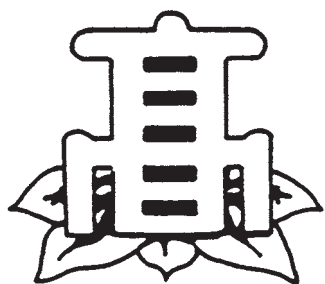
兵庫県立網干高等学校

校 訓



校章の由来

本校の校章は、兵庫県の教育に由縁の深い「ゆずりは」の葉と「高」の文字を配したものである。「ゆずりは」の特長は古い葉の落葉にさきがけて、4月に真新しい緑の葉を開き、上へ上へと限りなく伸びていくことにある。また、この新しい葉が古いものからすべてをゆずり受け、引き継いで永遠に繁栄していくところから「ゆずりは」と名づけられている。「ゆずりは」のように格調高く、絶えることなく発展しつづけ、県下の理想的な学園として雄飛したい願いをこめて制定したものである。



校 歌

池田昌夫 作詞
萩原英彦 作曲

一、波濤を越えて吹く風に

若きわれらは競い立つ

こころも腕も 鍛えつつ

創造の道を励みゆく

海ありとどろけ

網干高等学校

二、

くちなしの花白く咲き

みどりの木々に風渡る

友愛の情 清らかに

若き生命を称えよう

島ありうるわし

網干高等学校

三、

海にたらなる工場は

科学の華の咲くところ

世紀の理想 掲げつつ

学びの道を究めゆく

夢あり羽ばたけ

網干高等学校

目 次

沿 革	2
施 設 概 要	4
防 災 計 画	8
全 日 制 課 程	
教 育 計 画	11
1 学校経営の重点等	
2 教育課程	
3 行事等年間計画表	
職 員	20
1 定員・現員表	
2 職員組織	
3 校務分掌	
生 徒	23
1 生徒数	
2 生徒についての調査	
3 令和3年度進路状況	
通 信 制 課 程	
教 育 計 画	26
1 学校経営の重点等	
2 教育課程	
3 行事等年間計画表	
職 員	35
1 定員・現員表	
2 職員組織	
3 校務分掌	
生 徒	37
1 生徒数	
2 生徒についての調査	
3 卒業生状況	
4 令和3年度進路状況	
実施校、協力校、定通併修校、定通連携併修校、教育連携協定校	

沿 革

昭和53年11月 1 日	兵庫県立播磨養護学校長竹一干城 兵庫県教育委員会事務局学事課参事に補せられ、県立学校開設準備事務（姫路・福崎学区）担当を命ぜられる。 開設準備室を兵庫県警察本部東別館に置く。
昭和54年 1 月 1 日	開設準備室を兵庫県立姫路南高等学校へ移す。
昭和54年 1 月 5 日	兵庫県教育委員会において名称を「兵庫県立網干高等学校」と内定し兵庫県議会において議決されるまで「仮称」を冠する。
昭和54年 1 月12日	生徒募集定員を全日制課程180名（普通科4学級）、定時制課程38名（普通科1学級）、通信制課程200名に決定。
昭和54年 3 月14日	昭和54年兵庫県条例第15号の公布により「兵庫県立網干高等学校」と校名決定。
昭和54年 4 月 1 日	昭和54年兵庫県条例第15号の施行により開校。 兵庫県教育委員会事務局学事課参事竹一干城 初代校長に補せられる。 昭和54年兵庫県教育委員会規則第4号の施行により定時制課程設置。 昭和54年兵庫県教育委員会規則第6号の施行により通信制課程設置。 兵庫県立豊岡高等学校が協力校となる。 兵庫県教育委員会事務局学事課から校地の所属替を受ける。
昭和54年 4 月 9 日	開校式及び第1回入学式並びに編入式を姫路市文化センターにおいて行う。
昭和54年 7 月11日	学事課から管理棟（鉄筋2階建）普通教室棟（鉄筋4階建）特別教室棟（鉄筋5階建）図書室棟（鉄筋4階建）設備棟（鉄筋平家建）プロパン庫（鉄筋平家建）及び部室（ブロック2階建）の所属替を受ける。
昭和55年 3 月21日	体育器具庫（ブロック平家建）完成。
昭和55年 4 月 1 日	昭和55年兵庫県教育委員会規則第7号の施行により兵庫県立西脇北高等学校並びに兵庫県立川西高等学校が通信制課程の協力校となる。
昭和55年 6 月13日	体育館（鉄骨・鉄筋2階建）完成。
昭和55年12月 9 日	危険物倉庫（ブロック平家建）完成。
昭和56年11月 1 日	開校記念式典を行う。
昭和58年 4 月 1 日	兵庫県立武庫高等学校教頭八城昭義 第2代校長に補せられる。 定時制課程募集停止。
昭和59年 3 月31日	プール及び同附属棟（ブロック平家建）完成。
昭和59年 4 月 1 日	全日制課程生徒定員930名（20学級）となる。
昭和59年 6 月 6 日	第2普通教室棟（鉄筋4階建）完成。
昭和60年 4 月 1 日	兵庫県立小野高等学校教頭佐久間壽 第3代校長に補せられる。 全日制課程生徒定員1,128名（24学級）となる。
昭和61年 3 月31日	定時制課程閉校。
昭和61年 4 月 1 日	全日制課程生徒定員1,269名（27学級）となる。
昭和62年 4 月 1 日	全日制課程生徒定員1,316名（28学級）となる。
昭和63年 4 月 1 日	全日制課程生徒定員1,363名（29学級）となる。
昭和63年11月12日	創立10周年記念式典を行う。
平成元年 4 月 1 日	兵庫県立高砂高等学校長小松孝 第4代校長に補せられる。 全日制課程生徒定員1,410名（30学級）となる。
平成 2 年 4 月 1 日	全日制課程生徒定員1,363名（29学級）となる。
平成 3 年 3 月25日	屋外便所（ブロック平家建）完成。
平成 3 年 4 月 1 日	全日制課程生徒定員1,298名（28学級）となる。

平成 4 年 4 月 1 日	兵庫県立網干高等学校教頭小谷篤 第 5 代校長に補せられる。 全日制課程生徒定員1,228名（28学級）となる。
平成 5 年 4 月 1 日	全日制課程生徒定員1,165名（28学級）となる。
平成 6 年 4 月 1 日	全日制課程生徒定員1,080名（27学級）となる。
平成 7 年 4 月 1 日	兵庫県立姫路飾西高等学校教頭田淵俊介 第 6 代校長に補せられる。 全日制課程生徒定員1,000名（25学級）となる。
平成 8 年 4 月 1 日	全日制課程生徒定員960名（24学級）となる。
平成10年 4 月 1 日	兵庫県立赤穂高等学校教頭富重明 第 7 代校長に補せられる。 通信制課程生徒定員1,000名となる。
平成10年11月 7 日	創立20周年記念式典を行う。
平成11年 4 月 1 日	通信制課程単位制となる。
平成12年 4 月 1 日	全日制課程生徒定員920名（23学級）となる。
平成13年 4 月 1 日	兵庫県立相生産業高等学校教頭谷中吉典 第 8 代校長に補せられる。 全日制課程生徒定員880名（22学級）となる。
平成14年 4 月 1 日	全日制課程生徒定員800名（20学級）となる。
平成15年 4 月 1 日	兵庫県立山崎高等学校教頭市村豊 第 9 代校長に補せられる。 全日制課程生徒定員760名（19学級）となる。
平成16年 4 月 1 日	全日制課程生徒定員680名（17学級）となる。
平成17年 4 月 1 日	兵庫県立南但馬自然学校副校長相生隆司 第10代校長に補せられる。 全日制課程生徒定員640名（16学級）となる。
平成18年 4 月 1 日	全日制課程生徒定員600名（15学級）となる。
平成19年 3 月29日	体育館耐震工事完成。
平成19年 4 月 1 日	兵庫県立龍野実業高等学校教頭橋本成生 第11代校長に補せられる。
平成20年11月15日	創立30周年記念式典を行う。
平成21年 4 月 1 日	兵庫県立網干高等学校教頭北中利夫 第12代校長に補せられる。
平成22年 4 月 1 日	全日制課程生徒定員640名（16学級）となる。
平成23年 4 月 1 日	兵庫県立姫路北高等学校教頭大和博之 第13代校長に補せられる。
平成23年10月 6 日	図書室棟、部室耐震工事完成。
平成24年 3 月28日	太陽光発電設備工事竣工。
平成26年 4 月 1 日	兵庫県立夢前高等学校校長松原秀和 第14代校長に補せられる。 全日制課程生徒定員680名（17学級）となる。
平成27年 9 月18日	特別教室棟耐震工事完成。
平成28年 4 月 1 日	全日制課程生徒定員640名（16学級）となる。
平成29年 4 月 1 日	兵庫県立網干高等学校教頭松井英司 第15代校長に補せられる。 全日制課程生徒定員600名（15学級）となる。
平成29年 5 月30日	エレベーター棟（鉄骨 5 階建）完成
平成30年 4 月 1 日	全日制課程生徒定員560名（14学級）となる。
平成31年 4 月 1 日	兵庫県立佐用高等学校教頭濱田明利 第16代校長に補せられる。 全日制課程生徒定員520名（13学級）となる。
令和元年 7 月 5 日	普通教室棟等トイレ改修工事完了
令和 2 年 4 月 1 日	全日制課程生徒定員480名（12学級）となる。
令和 2 年 8 月	通信制課程、空調設備設置。
令和 2 年11月	学びの創造ルーム整備。
令和 3 年 4 月 1 日	兵庫県立家島高等学校校長松木知二 第17代校長に補せられる。

施 設 概 要

(1) 校 地 (単位 m²)

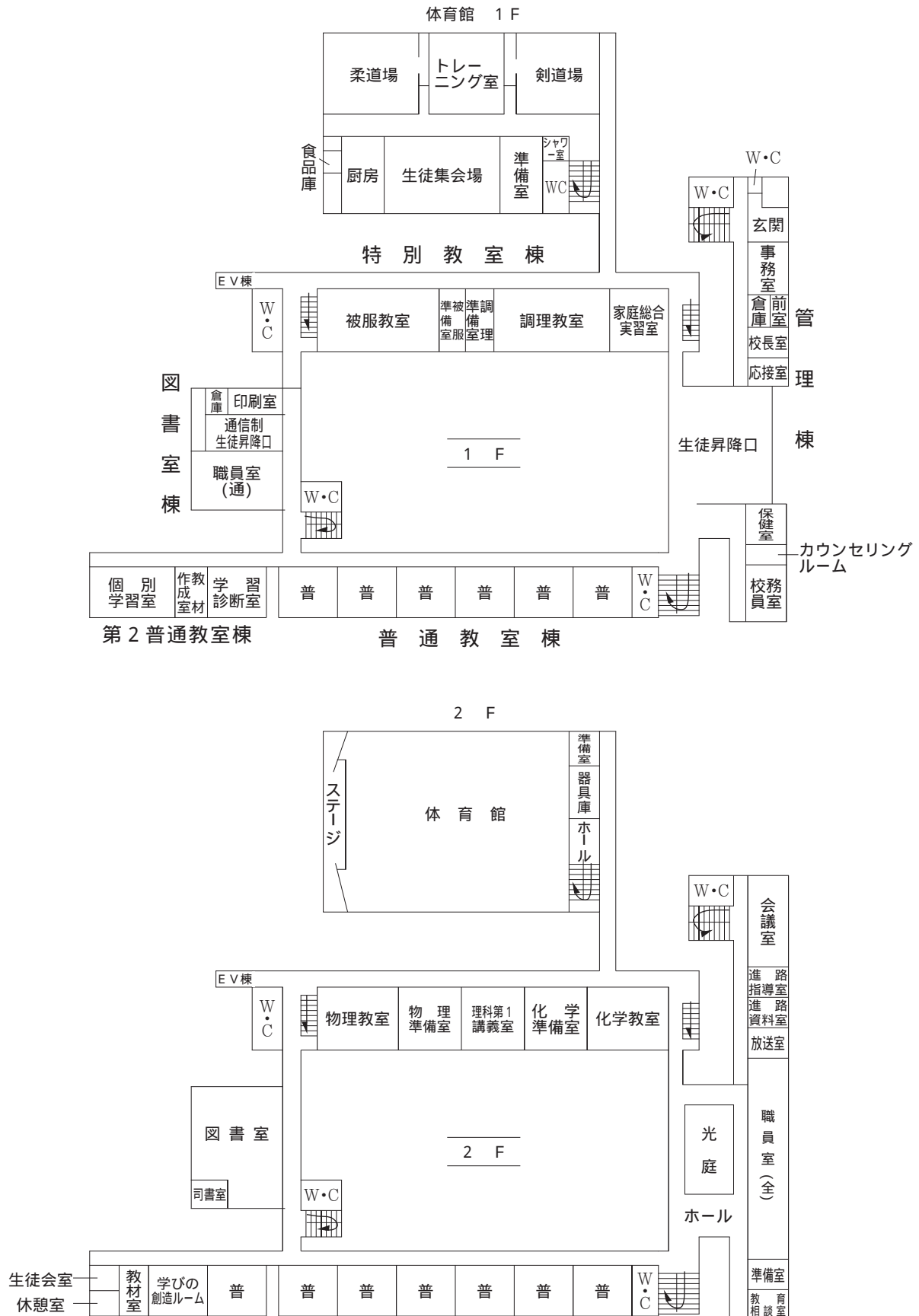
校 地 総 面 積	校 舎 敷 地 面 積	運 動 場 面 積
41,096	21,014	20,082

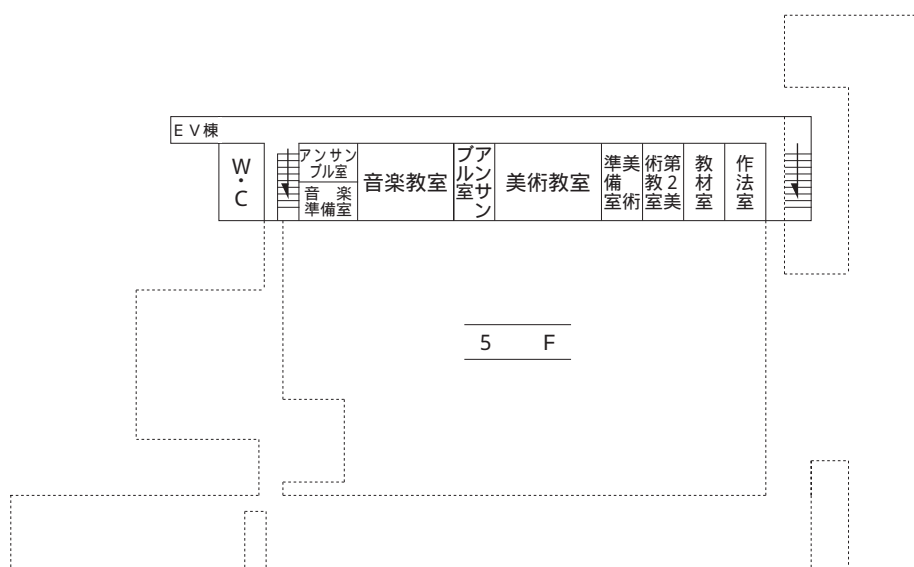
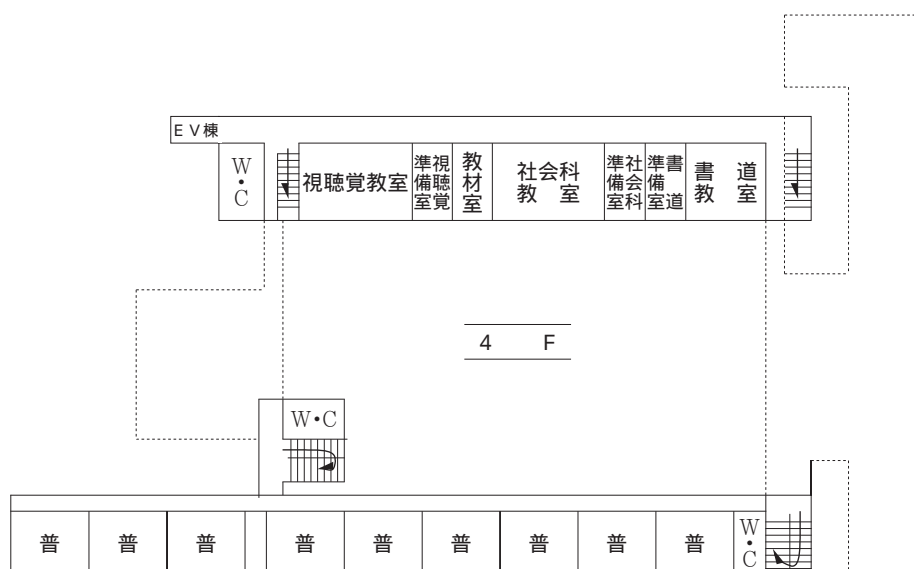
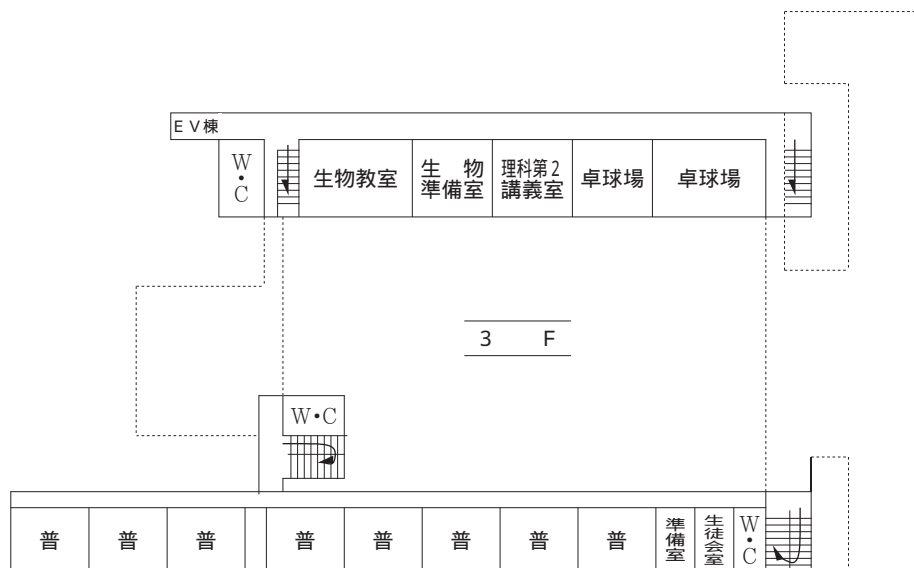
(2) 建 物

建 物 名 称	構 造	室 数	延 面 積 (m ²)
管 理 棟 (A 棟)	鉄 筋 2 階 建	12	1,873.86
普 通 教 室 棟 (B 棟)	鉄 筋 4 階 建	24	2,589.12
第 2 普 通 教 室 棟	鉄 筋 4 階 建	12	1,132.32
特 別 教 室 棟 (C 棟)	鉄 筋 5 階 建	31	4,399.61
図 書 室 棟 (D 棟)	鉄 筋 4 階 建 (一部2階建)	4	1,073.92
体 育 館	鉄 骨 ・ 鉄 筋 2 階 建	9	2,610.00
設 備 棟	鉄 筋 平 家 建	3	88.45
プ ロ パ ン 庫	鉄 筋 平 家 建	1	17.50
部 室	ブ ロ ッ ク 2 階 建	20	197.72
体 育 器 具 庫	ブ ロ ッ ク 平 家 建	1	58.11
危 険 物 倉 庫	ブ ロ ッ ク 平 家 建	1	8.00
プ ー ル 附 属 棟	ブ ロ ッ ク 平 家 建	3	87.98
屋 外 便 所	ブ ロ ッ ク 平 家 建	1	9.99
エ レ ベ ー タ ー 棟	鉄 骨 5 階 建		63.85
計		122	14,210.43



校 舎 平 面 図





防 災 計 画

組織に関する事項	組		織	班長	班							員						
	総		括	班	松木	岩田	吉田	田中	陶山	相賀								
	通		報	班	三村	住本	中野	安川	澤山									
	消		火	班	岡村	山田 ^義	山口	佐々木	石原	宮浦	河野	秋山						
						山田 ^剛												
	工		作	班	小林 ^潔	井野	福田	西下										
	搬		出	班	山本	三木	駒田	長石	白石	奥村	浮田	松田	吉本					
	警		備	班	大賀	矢木	堤	中西	橋本	松上	赤瀬							
	避		難	誘	導	班	肥塚	野村	野田	山下	小原	武友	難波	柴原	都倉			
						藤原												
救		護		班	高田	板倉	森田	小西	小林 ^明	宮本								
訓練に関する事項	訓				練	事		項		実						施	計	画
	基本訓練		初期消火訓練			令和4年5月実施（全日制）												
			避難誘導訓練			令和4年5月（通信制）、11月（全日制）実施												
	総		合		訓	練	年1回以上											
防火用機械器具、 火気施設、危険物 に 関 す る 事 項	名					称					員数		定期検査又は点検の時期及び、その方法					
	消火施設		消			火	器	粉末消火器			55本		○自主検査 月1回検査を行い、改善を要する事項を発見後、直ちに必要な措置をとる					
			屋内消火設備			消火栓			33基									
						ポンプ			1台									
						電動機			1台									
	警報設備		自			動	火	災	受信機（P型1級）			1台		○消火設備点検 消火設備保守点検委託業者契約に基づき、定期及び臨時点検を行い緊急事態に備える。				
						分布型感知器			7個									
						スポット型感知器			174個									
			警			報	設	備	定温防水型感知器			13個						
						光電式煙感知器			10個									
						漏電警報設備			A6D - V2型受信機			1式						
	火気施設		火気使用場所			非常放送設備			スピーカー(120W)			44台						
						事務室他管理室			6室		各室に管理責任者を置き、災害の未然防止に努める。							
						調理教室他実習室			6室									
	危険物		プロパン庫			(最大2000kg収容)			1棟									
			危険物倉庫			(灯油800ℓ収容)			1棟									
	避難誘導の順路、 電機配線、防火用 機械器具等の配置 に 関 す る 事 項																	
省																	略	
その 他 の 事 項																		

防災に係わる指揮系統及び安全管理・指導

1. 災害が勤務時間内で発生した場合

令和4年度防災組織・計画に従い、指揮系統で対応する。

2. 災害が勤務時間外に発生した場合の対応

下記の非常時の通勤時間（自宅～学校）により、組織の指揮系統で対応

非常時の通勤時間（自宅～学校：徒歩で来た場合時速4kmとして計算）

所要時間	氏 名
30分以内	肥塚哲也 小林潔志 野田かおり 高田聡子 澤山裕恵 S.ロセル
1時間以内	山田義夫 小西未唯 宮浦 聖
1時間30分以内	橋本拓史 野村須美子 森田美也子 山本晃寛 小林明美 奥村 匡 住本亜也子 中野有未
2時間以内	板倉聡子 岡村真輔 小原理恵 佐々木浩二 中西 央 吉田博士 赤瀬颯一 山田剛希
2時間30分以内	三木智子 山下明子 福田純次 西下武志 秋山雅彦 河野 誉 都倉睦美
3時間以内	堤 邦光 柴原一嘉 森川良平
3時間以上	岩田一雄 田中隆之 陶山 浩 大賀康弘 石原 孟 武友翔平 長石正愛 宮浦 聖 白石紀生 駒田 奏 山口陽子 安川奈槻 相賀勇人 井野和雄 浮田和昭 難波香里 藤原花帆 松上裕美 松田佐千子 宮本知子 山本祐衣 吉本ゆう子 三村譲治

災害発生時における学校の避難所としての職員役割分担表

班長 ○ 副班長

班 名	役 割 の 内 容	係長	係 員
総括班〔本部〕 松木 ○ 岩田 ○ 吉田 ○ 田中	避難所の総括 各種情報の収集・伝達 各班の調整・まとめ 避難者との連絡	松木 岩田 吉田 相賀	田中 陶山 柴原 井野
情報班 山本 ○ 松上 ○ 奥村	状況把握・報告 生徒の実態把握・報告 避難者名簿の作成 外部からの問い合わせの対応 インターネットによる情報収集・伝達	山本 肥塚 三木 浮田 石原	野村 小原 駒田 白石 赤瀬 澤山 長石 矢木 松田 難波 藤原
施設班 岡村 ○ 山田 ^義 ○ 三村	本部・救護室等の確保 避難箇所の割り振り・誘導 ゴミの収集・清掃・管理 施設の点検・整備・管理	岡村 山下 山田 ^義 三村	小林 ^潔 (高田) 武友 野田 安川 山口 都倉 福田 西下
物資班 大賀 ○ 佐々木	必要物資の取りまとめ 物資の受領 物資の搬送・支給	大賀 佐々木 河野	橋本 宮浦 住本 中西 石原 堤 秋山 山田 ^剛
救護班 高田 ○ 板倉	生徒・避難者の救護及び安全対策	板倉	森田 小林 ^明 小西 宮本 吉本

全 日 制 課 程



教 育 計 画

1 学校経営の重点等

1 学校経営の重点

(1) 教育方針

「創造 友愛 清浄」の校訓を具体的に実践し、「兵庫が育む ところ豊かで自立する人づくり」
～未来への道を切り拓く力の育成～を行う。

(2) 経営目標

ア 基礎学力の定着を図り、自己を生かし、個性や創造力を伸ばす人づくり

イ 命と人権を大切にし、共に生きるところ豊かな人づくり

ウ 自尊感情を高め、社会の中で自立し、清く正しく生きる人づくり

エ 家庭や地域社会と連携を図り、愛され信頼される開かれた学校づくり

(3) 本年度の学校経営の重点

基礎学力の定着とそれを活用する力を育成するとともに、ところの教育の充実によって一人一人の生徒が自己実現を図ることのできる学校づくりを推進する。

ア 特色ある学校づくりの推進

「郷土を愛し、国際性豊かな人づくり」をめざす。

生徒の実態に対応し、一人ひとりの「生きる力」につなげる教育課程の編成を行う。

自己の在り方や生き方の探求を進め、「総合的な探究の時間」を利用して実践する。

ＩＴ機器を活用した教育活動の工夫と研究を行う。

イ 学習指導の充実

基礎学力の定着に努めるとともに、調査・研究・発表や討論等の言語活動等を取り入れ、自ら学ぶ意欲や態度の育成を図る。

能力・適性を伸ばすとともに思考力・判断力・表現力を育成する。

学習のあり方を家庭学習と連動して位置づけ、自学自習の習慣化を図る

すこやかでたくましく生きるための体力・精神力の育成を図る。

自己実現をめざすとともに、命と人権を大切にし、共に生きる心の育成を図る。

「アクティブ・ラーニング」等の視点から、指導方法の工夫、改善に取り組むとともに、小人数指導等きめ細かな指導の充実を図る。

ウ 生徒指導の充実

生徒指導の目標や基本方針等に基づき、教師用指導資料「子どもが心を開く教師の『まなざし』」等を活用しながら、全教職員の共通理解を図り、協力し実践する体制づくりに努める。

「兵庫県立網干高等学校いじめ防止基本方針」に基づき、定期的なアンケート調査や教育相談等の実施等をとおして、いじめの積極的な認知、未然防止、早期発見・早期対応を図る。

人間として不可欠な倫理観を高め、自主・自律の精神を育成する。

相互尊重の精神を育て、共に生きるぬくもりと心身のすこやかさの涵養を図る。

阪神・淡路大震災や東日本大震災等に学び、災害に備えた計画的な防災教育を行い、緊急時における適切な対応能力・態度を育成する。

教育相談の充実や家庭との密接な連携により、生徒理解を深め、いじめ等の問題の未然防止、早期発見、早期対応を図るとともに、生徒の自己理解や自己実現を支援する。

保健係や学年との連携を図りながら、特別支援教育をすすめる。

エ 教育環境の整備

各学年・各部・各種委員会及び各教科間の連携を図る。

各教科のカリキュラム・指導内容・方法等の点検・整備を図る。

施設・設備の充実とともにその活用と安全点検に努める。

全日制と通信制の課程間の緊密な連携を図る。

オ 教育効果を高める活動

時代の要請に対応した教職員の意識変革と資質の向上のための研修に努める。

家庭・地域社会・中学校及び関係諸機関との参画と協働による地域教育システムの構築を図る。

海外姉妹校との交流事業等とおして、国際理解教育の充実を図る。

ホームルーム活動、福祉・環境教育の充実を図る。

2 教科指導及び生徒指導（特別活動を含む）の重点

(1) 教科指導の充実

重点目標：活力ある学習活動をとおして、地域の教育力の活用等、生涯学習社会を見据えた自己教育力を身につけ、学ぶ喜びや努力することの大切さを体得させる。

ア 多様な生徒に対応するため、英語・数学・国語・理科等で習熟度別学級編成（少人数編成を含む）を行い、基礎学力の定着を図る。

イ 生徒の能力・適性、進路目標に応じた指導を徹底し、自己教育力・自己学習力の育成を図る。

ウ 教科の指導内容を精選し、学習目標・学習課題を明確にした指導を行うとともに、達成状況及び改善策を明示して学習の喜びを体得させる。特に、グローバル人材の育成を一つの軸として、国際理解教育や生徒の英語運用能力向上を図る。

エ 社会の変化に主体的に対応できる能力の育成を図るために、思考力・判断力・表現力などを培い、その能力評価の方法を確立する。

オ 教育機器の効果的な活用による指導法の研究を深め、きめ細かな学習指導の確立と徹底を図る。

カ 授業研究・教科研究等を推進する体制を確立して、適切な指導ができるように不断の研修に努める。

キ 全教科でシラバス、評価規準を作成する。

(2) 進路指導の重点

重点目標：生徒一人一人が、生涯を見据えて、学ぶ意義や目的を見出し、充実した人生を送る基盤を形成して自己実現を図るために、自らの意思と責任で主体的に進路を選択し決定できる能力や態度を育成する。

ア 進路指導方針についての共通理解を図り、「自立」の態度を育成して、個性の自覚と生徒個々の学力向上をめざす。

イ 個性を尊重し、能力を伸ばし、適性を生かす指導のもとに、将来の進路等について家庭や関係諸機関との連携を密にし、生徒・保護者のニーズに応える指導を行う。

ウ 「総合的な学習の時間」や「総合的な探究の時間」など人間としての在り方・生き方に関する学習をとおして、生徒一人一人の進路意識を高め、それぞれの能力・適性、興味・関心に応じた進路の実現をめざす。

エ 自己の将来を描き、学ぶことや働くことの意義・役割等を理解させ、キャリアプランニング能力を育成するために、キャリアノート等を活用して、個々の生徒の実情に応じた指導・支援を推進する。

(3) 生徒指導の重点

重点目標：人間的なふれあいを基盤とした指導の充実を図り、良き伝統や校風の継承と発展・高揚をめざすとともに、自律的生活習慣の育成（挨拶・会釈の励行等）と社会秩序を遵守する精神（交通マナーの遵守等）の涵養を図る。

ア 集団活動を通して、自主・自律の精神を習得させる。

イ カウンセリングをとおして、生徒の内面的理解を深めるとともに、生徒に自己内省の態度を身につけさせる。

ウ 自他の生命の尊重を根底におき、交通法規・マナーを遵守する態度を育成することにより、日常生活における事故防止等の安全教育の充実を図る。

エ 生徒会活動や部活動の活性化と充実を図る。

オ 「兵庫県立網干高等学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ対応チームを中心に、学校、家庭や地域社会、関係諸機関との緊密に連携して、いじめ等、諸問題の早期発見、早期対応、早期解決に努める。

カ 体験活動を重視し、ボランティア活動の充実にも努める。

(4) 特別活動指導の重点

重点目標：責任感及び自律的態度を育成するとともに、集団生活をとおして秩序を遵守する態度を育成する。

ア ホームルーム活動

明確な目標と計画に基づいた展開により、人間としての在り方・生き方を探求し、将来への展望を持たせる。

相互理解及び共感の深化醸成を図り、互いに支え合う精神を養い、共に成長する喜びを分かち合う。

面談等をとおして内面を理解・把握し、望ましい健全な生活態度の育成を図る。

イ 生徒会活動

生徒の自主的な活動を支援し、生徒会活動の活性化と充実発展をめざす。

ウ 部活動

生徒の自主性・協調性・忍耐力等を養成し、規律・秩序を遵守する態度を育成する。

エ 学校行事

目標の明確化と計画的運営により、集団への帰属意識を高め、学校生活の充実と発展をめざす。

(5) 人権教育の重点

重点目標：「人権教育基本方針」に基づき、人権尊重の理念に対する理解を深め、豊かな人権意識を育成するとともに、差別を解消するための科学的な認識を培い、自他に対する肯定的な態度と共生社会の実現に主体的に取り組む実践力を育成する。

ア 人権問題の重要な柱である同和問題をはじめ、女性・就職・障害のある人・外国人・インターネットによる人権侵害等、人権にかかわる課題の解決に向けて主体的に取り組む意欲と態度を育成する。

イ 体験活動や参加型学習を取り入れた教育活動全体をとおして、人権に関する学習を行い、生命の尊厳と人権尊重の教育を推進する。

ウ 『HUMAN RIGHTS』を有効に活用し、ホームルーム活動や学校行事をより充実させ、困難な状況の中でも思いやりの心を大切にする精神を育成する。

エ 『人権教育基本方針』や『指導の重点』、『HUMAN RIGHTS』などを参考に、全教職員の共通理解を深めるために計画的、継続的な校内研修の充実を図る。

(6) 国際理解教育の重点

重点目標：国際社会の一員として、自らの考えや意思を伝え、主体的に行動できる態度や能力を育成する。さらに、自国や異文化を理解する態度や人権尊重の精神を育み、主体的に国際社会に貢献しようとする態度を育成する。

ア 教育活動全体を通じて、コミュニケーション能力の育成を図り、国際的視野を広め、異文化を理解し、尊重する態度を養う。

イ 国際社会に生きる日本人としての自覚を持つとともに自国の文化・伝統を理解し大切にしよう

とする姿勢を育てる。

ウ 海外姉妹校（ウッドベール高校：オーストラリア、パース市）との交流を推進し、両校の絆を深め、国際交流の深化を図る。

エ 国籍や民族等の「違い」を認め合い、豊かに共生しようとする意欲や態度を育むなど、多文化共生社会の実現をめざす教育を推進する。

(7) 環境・福祉教育の重点

重点目標：環境を大切にし、福祉の心をもって共に生きる社会の一員として、社会的常識を身につけるとともに、ボランティア活動等の体験活動を促し、実践的態度を養う。

ア 教科指導の中に計画的に位置づけ、その基本的知識を習得させ、実践的態度を養う。

イ 特別活動をとおして、その実践的態度と行動力を育成する。

ウ 地域や保護者の理解と協力のもとに、広い視野に立った福祉の心を体感させる。

エ 地域の清掃や毎日の清掃活動を充実させる事で、その意義を再認識させ、その徹底を図る。

オ 障害のある生徒等の性別、年齢及び障害の状態に応じて必要かつ合理的な配慮を提供し、他の生徒と平等に教育を受ける権利を確保する。

(8) 道徳教育の重点

重点目標：人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を養い、「豊かな心」を育み、未来を開く主体性のある人間を育成する。

ア 基本的な生活習慣を身につけ、規範意識の高揚を図る。

イ 一人ひとりの違いを認め、互いを尊重する心を養う。

ウ 他人を思いやり、自他の生命を尊重する精神を養う。

3 健康管理に関する指導の重点

心身の鍛錬と健康・安全教育の徹底及び防災意識の高揚を図り、生命尊重の精神を培うとともに、発達の段階に応じて、自らを守り、安全を確保する能力を身につけさせる。また、勤労意欲の奨励を図り、環境整備に努め、心の健康に関する積極的な教育相談活動を展開する。

(1) 健康教育の徹底

ア 各種の身体測定・健康診断の結果や日常の心身の状態を確実に把握させる。

イ 健康管理の重要性を講演会などにより確認させる。

ウ 食に関する教育など、生涯にわたる健康の基礎を培う。

(2) 防災安全教育の徹底

ア 登下校・教科・特別活動等の中で、防災安全に関する知識や能力を身につけさせ、常に安全に対する意識を高め、生命尊重の精神を育む。

イ 震災の教訓を生かした 防災マニュアルの充実・徹底を図り、緊急時にも適切に対応できる能力や態度の育成に努める。

(3) 環境整備・安全管理の徹底

ア 毎日の清掃活動により、勤労意欲を養成するとともに、校舎内外の美化・環境衛生の維持に努める。

イ 定期的に施設・設備の安全点検を行い、事故防止に努める。

(4) 生徒保健委員会の活性化と学校保健委員会の一層の充実を図る。

(5) 生命尊重の心や他人を思いやる心を育成する。

(6) 教育相談活動の充実を図る。

4 研究テーマ

地域に信頼される魅力的な学校づくりについて

- (1) ICT機器の有効な活用による教育活動の在り方について
- (2) 「主体的・対話的で深い学び」の授業の在り方と観点別評価について
- (3) 国際文化交流類系の在り方とグローバル人材を育成する各種取組の改善について
- (4) 総合的な探究における「探究学習」の在り方について
- (5) キャリア教育を踏まえた進路指導の在り方について
- (6) 生徒・保護者・地域から理解と信頼を得るための情報発信の在り方について
- (7) 各ライフステージにおける教職員の個々の資質と指導力の向上について
- (8) 教職員の業務改善と勤務時間の適正化の実現を図る取組みについて

5 高校生ふるさと貢献・活性化事業で実施する内容

- (1) ボランティア活動
- (2) クリーン作戦
- (3) オープン・ハイスクール
- (4) オープン・スクール（授業公開）
- (5) 部活動による地域イベント協力及び網干地域活性化プロジェクト（大学・姫路市・地元自治会・企業・漁業・農業事業者と連携）
- (6) 郷土を愛し、郷土に生きる人づくり（地域の識者と連携した研究・体験学習）

6 高校生就業体験事業～インターンシップ推進事業～で実施する内容

- (1) 就職・公務員ガイダンスおよびオリエンテーション
- (2) 県庁インターンシップ
- (3) 看護・医療体験
- (4) 高校生ふれあい育児体験
- (5) 進路説明会
- (6) 教育講演会
- (7) 看護・医療関係出前授業

7 県立高校特色づくり推進事業～インスパイア・ハイスクール～で実施する内容

国際化に対応した教育重点指定校として、語学力やコミュニケーション能力のみならず、主体性やチャレンジ精神を持ち、国際社会で活躍・貢献する意欲・態度の育成を図る。

- (1) 郷土を愛し、国際性豊かな人づくりを推進する。
- (2) 海外姉妹校（ウッドベール高校：オーストラリア、パース市）との交流をとおり国際理解教育及び多文化共生社会をめざす教育を推進する。
- (3) 大学の教授を招聘し、外国語や異文化理解に関する講義を行う。
- (4) 大学の教授等を招聘し、授業力向上を目的として研究授業、講義や研究協議を行う。
- (5) 外部専門家を招聘し、国際理解や多文化共生に関する講話（講演会）を行う。
- (6) 外国語教育に係る小学校・中学校・高等学校の連携事業を推進する。

8 高校生キャリアノートの活用に関する内容

自己の将来を描き、学ぶことや働くことの意義・役割等を理解させ、キャリアプランニング能力を育成するために、キャリアノートを活用して、個々の生徒の実情に応じた指導・支援を推進する。

2 教育課程 (令和2年度入学生)

類型 教科・科目等			4 学級		2.5 学級		文系に重点を置く類型（文Ⅱ）										文系に重点を置く類型（文Ⅰ）		文系・生物に重点をおく類型		理系に重点を置く類型										備考		
			1 年		2 年		3 年						単 位 計	3 年		単 位 計	2 年		3 年		単 位 計	2 年		3 年		単 位 計							
教 科	科目	標準 単 位	必修 29	選択 2	必修 26	選択 3	必修 2	必修 17	選択 4	選択 2	選択 2	選択 2		選択 2	選択 2		単 位 数	必修 27	選択 4	単 位 数		必修 29	選択 2	必修 29	選択 2		単 位 数	必修 28	選択 3	必修 27	選択 4	単 位 数	必修 28
各学科に共通する各教科・科目	国語	国語総合	4	4											4			4			4									4	文Ⅰは2年で数学Bを履修 してなければならない。 *1印は継続履修のみ可とする。 *2印は同一科目の選択は1 つまでとする。		
		現代文B	4			2			2						4		2	4		2		2		4		2	2		4			4	
		古典B	4			4			4						8		4	8		4		4		8		2	2		4			4	
		現代文研究	2								2				0・2	18			18													13	
		論述	1												20													1	1				
		論述現代文	2								2				0・2		2	2				2		2									
		古文研究	2										2*2	2*2	0・2							2		2									
	地理歴史	世界史A	2	2											2			2					2							2	*3印はの履修は、年間の2 分の1の期間に対応した基 礎を付した科目を履修し、 その後専門科目を履修す る。 *5印は同一科目の選択は2 つまでとする。		
		世界史B	4				3			4*1					0・7	11		4*1	0・7														
		日本史A	2				2								2			2															
		日本史B	4				3			4*1					0・7	13		4*1	0・7	11						6							
		地理B	4																				2	2	4			2	2	4			
		世界史研究	2									2			0・2																		
		日本史研究	2									2			0・2																		
	公民	現代社会	2	2											2	2		2		2				2					2	2			
		政治・経済	2								2				0・2	4				2				2									
	数学	数学Ⅰ	3	3												3			3				3							3	18		
		数学Ⅱ	4			4									4			4		4			4			4			4			4	
		数学Ⅲ	5																								7			7			
		数学A	2	2											2	11		2				2						2		2			
		数学B	2				2							0・2	13		2	2	15		2		0・2	15		2			2			2	
		数学研究A	2										2*2	2*2	0・2		2	2				2	2										
		数学研究B	2											2	15		2	2					2	0・2									
		数学研究C	2												0・2								2	0・2									
		一般数学	2									2			0・2								2	0・2									
		理科	物理基礎	2	2												2			2				2								2	19
	物理		4																							3		4*1	0・7				
	化学基礎		2				2								2			2		2			2		2*3				2				
	化学		4																						2*3		4		6				
	生物基礎		2	2											2	6		2		10			2						2				
	生物		4												8			12		3		4	7	15		3		4*1	0・7				
	化学研究		2												2	2		2															
	生物探究		2				2							0・2			2	2															
	生物研究		2												2	2		2															
	理科研究		2																				2	2									
	保健	体育	7~8	3		2			2						7	9	2	7	9	2	2	7	9	2	2	7	9	2	7	9		9	
		保健	2	1		1									2			2		1		2		2		1		2		2			
	芸術	音楽Ⅰ	2		2										0・2			0・2					0・2						0・2				
		美術Ⅰ	2		2										0・2	2		0・2		2		0・2		2				0・2					
		書道Ⅰ	2		2										0・2			0・2				0・2						0・2					
		コミュニケーション英語Ⅰ	3	3											3			3					3						3	17			
		コミュニケーション英語Ⅱ	4			4									4			4				4			4			4			4		
		コミュニケーション英語Ⅲ	4						4						4		4	4				4					4		4				
		英語表現Ⅰ	2	2											2			2				2					4		2				
	英語表現Ⅱ	4			2			2						4		2	4			2	2	4			2	2	4		4				
	英語研究	2						2						2	2		2	2				2	2										
	家庭	家庭基礎	2			2									2	2		2	2	2	2	2	2	2	2				2	2	2		
		社会と情報	2	2											2	2		2	2		2	2	2	2					2	2			
	経済	ビジネススキル	2												2	0・2																	
		実践英語	2												2	0・2		0							0								
	国際文化	英語探究	2				2								0・2	2						2		0・2	2								
		情報処理	2~8											2	0・2																		
	特選 ・てと 特選し 目設て き育れ る学各 科にお	家庭	子どもの発達と保育	2~6											2	0・2	0	2															
		家庭	フードデザイン	2~6											2	0・2	2	4															
		体育	スポーツⅡ	2~6											2	0・2	0	2															
		音楽	演奏研究	2~6					2						0・2	0	2					2		0・2	0								
	ソルフェージュ			4~12										2	0・2	2	4																
総合的な探究の時間			3~6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	1	3	探究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			
各学科に共通する各教科・科目の単位数計				28	2	25	3~5	16	10	~	14			69	16~21	26	4	79	9~11	28	0~2	28	2	84	4~6	27	3	26	4	81	9		
主として専門学科において開設される各教科・科目の単位数計				0	0	0	0~2	0	0	~	4			0	0~6	0	0	0	0~2	0	0~2	0	0	0	0~2	0	0	0	0	0	0		
科目単位数計				31		31		31						93	31	93		31	31	93		31	31	93		31	31		93				
ホームルーム過当り時数				1		1		1						3	1	3	1	3	1	1	3	1	3		3	1	1		3				
過当り授業時数				32		32		32						96	32	96		32	32	96		32	32	96		32	32		96				

教育課程 (令和3年度入学生)

教科・科目等			類型		文系に重点を置く類型		文系に重点を置く類型（文Ⅱ）										文系に重点を置く類型（文Ⅰ）				文系・生物に重点を置く類型				理系に重点を置く類型				備考																		
			4学級		2.5学級		1.5学級										1学級				0.5学級				1学級																						
教 科	科目	標準 単位	1年		2年		3年										単位 計	3年		単位 計	2年		3年		単位 計	2年		3年		単位 計																	
			必修 29	選択 2	必修 26	選択 3	必修 2	必修 17	選択 4	選択 2	選択 2	選択 2	選択 2	選択 2	必修 27	選択 4		必修 29	選択 2		必修 29	選択 2	必修 28	選択 3		必修 27	選択 4																				
各 学 科 に 共 通 す る 各 教 科 ・ 科 目	国語	国語総合	4	4									4			4													文Ⅰは2年で数学Bを履修 していなければならない。 *1印は継続履修のみ可とする。 *2印は同一科目の選択は1 つまでとする。 *3印はの履修は、年間の2 分の1の期間に対応した基 礎を付した科目を履修し、 その後専門科目を履修す る。 *5印は同一科目の選択は2 つまでとする。																		
		現代文B	4			2			2					4		2	4		2		2		4		2	2		4																			
		古典B	4			4			4					8		4	8		4		4		8		2	2		4																			
		現代文研究	2							2				0・2	18						2		4																								
		論述	1											20												1	1																				
		論述現代文	2							2				0・2		2		2				2	2																								
		古文研究	2										2*2	2*2	0・2																																
		国語研究C	2						2				0・2																																		
	地理歴史	世界史A	2	2										2			2										2		6																		
		世界史B	4				3			4*1			0・7		4*1	0・7																															
		日本史A	2			2							2			2																															
		日本史B	4				3			4*1			0・7		4*1	0・7	11																														
		地理B	4																2		2		4																								
		世界史研究	2									2		0・2																																	
		日本史研究	2								2		0・2																																		
	公民	現代社会	2	2									2	2		2	2					2				2	2	2																			
		政治・経済	2								2		0・2	4																																	
	数学	数学Ⅰ	3	3										3			3				3						3	18																			
		数学Ⅱ	4				4						4			4				4					4		4																				
		数学Ⅲ	5																						7	7																					
		数学A	2	2									2	11		2				2						2																					
		数学B	2					2					0・2	13		2		15		2		0・2		13	2	2																					
		数学研究A	2									2*2	2*2	15		2	2			2		2		15																							
		数学研究B	2									2	2	0・2		2	2			2		2	0・2																								
		数学研究C	2										2	0・2						2		0・2																									
		一般数学	2							2			0・2								2	0・2																									
	理科	物理基礎	2	2									2			2					2						2	19																			
		物理	4													2					2																										
		化学基礎	2			2							2			2			2		2				3	4*1																					
		化学	4										6							2				2*3		4																					
		生物基礎	2	2									8		2	10				2						2																					
		生物	4										10			12		3		4	7				3	4*1																					
		化学研究	2									2	0・2	12		2	2																														
		生物探究	2				2						0・2			0・2																															
		生物研究	2										2	0・2		2	2																														
		理科研究	2										0・2							2		2																									
	保健	体育	7~8	3		2			2				7	9	2	7	9	2	2	7	9	2	2	7	9	2	7	9																			
		保健	2	1		1							2			2		1		2				2		2																					
	芸術	音楽Ⅰ	2		2								0・2			0・2				0・2							0・2	2																			
		美術Ⅰ	2		2								0・2	2		0・2				0・2							0・2																				
		書道Ⅰ	2		2								0・2			0・2				0・2							0・2																				
	外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	3									3			3				3							3	17																			
		コミュニケーション英語Ⅱ	4				4						4			4				4							4																				
		コミュニケーション英語Ⅲ	4							4			4			4				4							4																				
		英語表現Ⅰ	2	2									2			2				2							2																				
		英語表現Ⅱ	4			2			2				4		2	4		2		2		4					4																				
		英語研究	2						2				2		2	2			2																												
	家庭・情報・国際文化	家庭基礎	2			2						2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2																				
		社会と情報	2	2									2	2		2	2			2	2						2																				
		ビジネススキル	2										2	0・2																																	
		実践英語	2										2	0・2						0																											
	外国語・国際文化	英語探究	2				2						0・2	4					2		0・2	2																									
		情報処理	2~8										2	0・2																																	
	家庭・保健・体育	子どもの発達と保育	2~6										2	0・2																																	
		フードデザイン	2~6										2	0・2																																	
		スポーツⅡ	2~6										2	0・2																																	
		演奏研究	2~6					2					0・2						2			0・2	0																								
	音楽	ソルフェージュ	4~12										2	0・2																																	
												2	0・2																																		
総合的な探究の時間			3~6		1		1		1				3		1		3		1		1		3		1		3		探究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ																		
各学科に共通する 各教科・科目の単位数計			28		2		25		3~5		16		10 ~ 14		69		15~21		26		4		79		9~11		28			0~2		84		4~6		27		3		26		4		81		9	
主として専門学科において開設される 各教科・科目の単位数計			0		0		0		0~2		0		0 ~ 4		0		0~6		0		0		0		0~2		0			0		0		0		0		0		0		0					
科目単位数計			31		31				31		93		31		93		31		31		93		31		31		93																				
ホームルーム週当たり時数			1		1				1		3		1		3		1		1		3		1		1		3																				
週当たり授業時数			32		32				32		96		32		96		32		32		96		32		32		96																				

始業時間・終業時間

始業時間：8時25分

終業時間：（月・木曜日）16:25

（火・水・金曜日）15:25

教育課程 (令和4年度入学生)

教科・科目等			類型		4 学級		2.5学級		文系に重点を置く類型 (文Ⅱ)								文系に重点を置く類型 (文Ⅰ)				芸術・生物に重点を置く類型(文Ⅲ)		理系に重点を置く類型				備考											
			1 年		2 年		3 年						単位 数	計	3 年				単位 数	計	2 年		3 年		単位 数	計												
教	科	科目	標準 単位	必修 29	選択 2	必修 26	選択 3	2	必修 17	3	1	2			2	2	必修 27	3			2	1	必修 31	31		必修 28	3	必修 27	3	2	4	必修 28	3	必修 27	3	2	4	必修 28
各 学 科 に 共 通 す る 各 教 科 ・ 科 目	国 語	現代の国語	2	2											2	18					2	16			2			2	13	文Ⅰは2年で数学Bを履修 していなければならない。 *1印は継続履修のみ可とする。 *2印は同時に選択する。 *3印はの履修は、年間の2 分の1の期間に対応した基 礎を付した科目を履修し、 その後専門科目を履修す る。								
		言語文化	2	2												2	22											2				2						
		論理国語	4			2				2						4						2	2	4		2		3			5							
		文学国語	4			2				2						4						2	2	4														
		国語表現	4												2*2	2*2	0・4																					
		古典探究	4			2				4						6		4				2	4	6		2		2			4							
	地 理 歴 史	地理総合	2			2										2	8				2	11		2	2		2		2	7								
		地理探究	3														10																					
		歴史総合	2	2												2														2								
		日本史探究	3					3		3*1					0・6				3		0・6																	
		世界史探究	3					3		3*1					0・6				3		0・6																	
		日本史研究	2											2	0・2					2		0・2																
		世界史研究	2										2		0・2					2		0・2																
		日本の文化と歴史	1										1		0・1						1	0・1																
	グローバル世界史	1										1		0・1							1	0・1																
	公 民	公共	2	2												2	10				2	4			2				2	2								
		政治・経済	2										2		0・2				2			0・2																
	数 学	数学Ⅰ	3	3												3	8				3	13			3				3	17								
		数学Ⅱ	4			4										4					4			4				4		4								
		数学Ⅲ	3																									4		4								
		数学A	2	2											2						2	15			2				2									
		数学B	2					2							0・2						0・2			2		2		2										
		数学C	2											2	0・2			2			2			2	2			2										
		数学研究A	2						2						2		2				2			2	2													
		物理基礎	2	2												2					2				2				2									
	理 科	物理	4														6										3	4*1	0・7									
		化学基礎	2			2										2					2			2		2	2*3		2									
		化学	4														8										2*3		4	6								
		生物基礎	2	2												2					2	10			2		14		2									
		生物	4														10						3	4	7			3	4*1	0・7								
		生物探究	2					2							0・2						0・2																	
		生物研究	2												2																							
		理科研究	1~2														2							1	1													
	保 体	体育	7~8	3		2			2						7	9	2			7	9		2	2	7	9	2		2	7	9							
		保健	2	1		1									2						2		1		2		1			2								
	芸 術	音楽Ⅰ	2	2											0・2						0・2				0・2					0・2								
		美術Ⅰ	2		2										0・2	2					0・2	2				0・2				0・2								
		書道Ⅰ	2		2										0・2						0・2				0・2					0・2								
	外 国 語	英語コミュニケーションⅠ	3	3											3	19					3	19			3				3	17								
		英語コミュニケーションⅡ	4			4									4						4			4				4		4								
		英語コミュニケーションⅢ	4						4						4		4				4			4			4		4									
		論理・表現Ⅰ	2	2											2						2			2		2			2									
		論理・表現Ⅱ	2			2									2						2			2		2			2									
		論理・表現Ⅲ	2						2						2		2				2			2		2			2									
	家 庭 科	家庭基礎	2			2									2	2				2	2		2	2	2	2			2	2								
		情報Ⅰ	2	2											2	2					2	2			2	2			2	2								
	関 係 学 科	ソーシャルスキル	2											2	0・2	0・2																						
		実践英語	2												2	0・2																						
	関 係 学 科	英語探究	2					2							0・2	2					0・2	2																
		情報処理	2~8												2	0・2	0・2																					
	家 庭 科	保育基礎	2~6												2	0・2																						
		フードデザイン	2~6												2	0・2																						
	音 楽	スポーツⅡ	2~6											2	0・2	0・2																						
		演奏研究	2~6					2							0・2	0				0・2	0																	
	音 楽	ソルフェージュ	4~12												2	0・2																						
		総合的な探究の時間	3~6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1					
	各学科に共通する 各教科・科目の単位数計			28	2	25	3~5	20	6~10						24	6	77	0~15	30	30	90	0	27	3	26	4	81	9	網高クエスト									
	主として専門学科において開設される 各教科・科目の単位数計			0	0	0	0~2	0	0~4						0	0	0	0~2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	主として専門学科において開設される教科・ 科目の履修単位数0~6 単位						
	科目単位数計			31		31			31						31		93		31	31	93		31		31		93											
	ホームルーム当たり時数			1		1			1					3		1		3		3	1	1	3		1		1	3										
	週当たり授業時数			32		32			32					96		32		96		32	32	96		32		32		96										

3 行事等年間計画表

月	行 事
4	1 学期始業式 入学式 対面式 新入生オリエンテーション (1 年) 課題考査 通学指導 自転車安全点検 (1 年) 身体測定 内科検診 スタディ・サポート (1 年) 新入生ガイダンス (1 年) 胸部レントゲン 心電図検査 歯科検診 眼科検診 耳鼻科検診 新旧学年連絡会 サイバー犯罪防止教育講演会 尿検査 生徒総会
5	職員・PTA 合同通学指導 PTA 総会 進学ガイダンス 学年懇談会 再尿検査 環境衛生検査 (飲料水・食堂) 交通安全教室 中間考査 職員健康診断 企業訪問 防災避難訓練 生徒会役員選挙 教育実習 進学模試 (3 年) 就職・公務員模試 (3 年)
6	進学模試 (3 年) 公開授業週間 看護・就職・公務員模試 (3 年) 清風祭 GTEC 看護・医療ガイダンス (3 年) 生徒会役員認証式 校外補導 進研模試 (全学年)
7	期末考査 進学ガイダンス (3 年) 職業人講話 (1 年) ワックス掛け (廊下) 進路ガイダンス (3 年) 就職・公務員ガイダンス (3 年) 1 学期終業式 三者懇談 転入学考査 夏季前期補習 就職希望者説明会 学校評議員会 看護就業体験 心肺蘇生法講習会
8	夏季中期補習 就職希望者選考会議 進学校外模試 (3 年) 夏季後期補習 学年登校日 (1・2 年) スタディ・サポート (1・2 年) 英語スピーチコンテスト オープン・ハイスクール GTEC 職員カウンセリングマインド研修会 県庁インターンシップ 就業体験 (保育)
9	2 学期始業式 進路ガイダンス (3 年) 課題考査 進学校外模試 (3 年) 体育大会前健康相談 進学模試 (3 年) 体育大会 後期学級役員選出 指定校推薦会議 共通テスト出願説明会 就職試験事前指導 芸術鑑賞 (3 年) 職員・PTA 合同通学指導 修学旅行前健康相談
10	進学模試 (3 年) 進路ガイダンス・保護者説明会 (1・2 年) 共通テスト出願 進学校外模試 (3 年) 中間考査 環境衛生検査 (飲料水・食堂) 修学旅行 (2 年)
11	創立記念日 進学模試 (全学年) 全統記述模試 (3 年) シェイクアウト訓練 看護医療系ガイダンス (2 年) 大学模擬授業 (2 年) 公開授業週間 オープンスクール 人権講演会 薬物乱用防止教室 共通テストプレ (3 年)
12	安全点検 期末考査 球技大会 進路ガイダンス (2 年) 転入学考査 一般入試検討会 クリーン作戦 (1 年) 2 学期終業式 冬季補習 学校評議員会
1	3 学期始業式 課題考査 共通テスト事前指導 共通テスト 進学模試 (1・2 年) 国公立出願検討会 三者面談 (3 年) 環境衛生検査 (CO ₂ 濃度) 卒業考査 ワックス掛け (教室、3 年)
2	探求活動発表会 (1・2 年) 職員・PTA 合同通学指導 進路ガイダンス (2 年) 進学模試 (2 年) 特色選抜入試 学校保健委員会 学年末考査 卒業式 学校評議員会 「黎明」(校内読書感想文) 発行
3	複数志願選抜学力検査 教科書販売 個人写真撮影 ワックス掛け (教室、1・2 年) スタディ・サポート 就業体験 (保育) 主権者教育講演会 (2 年) 転入学考査 3 学期終業式 合格者説明会

- 毎月：登下校交通安全指導
- 毎月：生活点検
- キャンパス・カウンセリング (年間17回)

職 員

1 定員・現員表

(令和4年5月1日現在)

区 分	本 務 職 員										非 常 勤 職 員 等								
職 名	校 長	教 頭	事 務 長	教 諭	臨 時 講 師	養 護 教 諭	実 習 教 員	事 務 員	校 務 員	合 計	生 徒	茶 作 法	学 校 医 等					外国語指導助手	時 間 講 師
													内 科 医	眼 科 医	耳 鼻 科 医	歯 科 医	薬 剤 師		
定 員	1	1	1	27		1	1	2	2	36	1	1	1	1	1	1		—	
現 員	1	1	1	26	1 (2)	1	1	2 (1)	2	36	1	1	1	1	1	1	1	15人	

(注) () は育休・育休代替外数

2 職 員 組 織

職 名	氏 名	教 科	学 年	校 務 分 掌	部 顧 問
校 長	松 木 知 二				
教 頭	岩 田 一 雄				
事 務 長	田 中 隆 之				
主 幹 教 諭	大 賀 康 弘	保健体育		生徒指導部長、生徒指導担当	陸上競技
教 諭	陶 山 浩	地歴公民		総務部長、資質向上担当	バドミントン
教 諭	小 林 明 美	国 語		生徒指導部	水泳、放送メディア
教 諭	野 田 か お り	国 語	3 学年	3 学年副主任、3 年 2 組担任	ソフトテニス
教 諭	三 木 智 子	国 語		教務部	茶華道、家庭
教 諭	小 林 潔 志	地歴公民		総務部、3 学年副担任	放送メディア、吹奏楽・弦楽
教 諭	佐 々 木 浩 二	国 語	2 学年	進路指導部、2 学年副担任	卓球
教 諭	長 石 正 愛	国 語	2 学年	2 年 4 組担任	バドミントン
教 諭	武 友 翔 平	数 学	1 学年	1 学年副主任、1 年 1 組担任	卓球
教 諭	野 村 須 美 子	数 学	3 学年	3 学年主任	ソフトボール
教 諭	山 本 晃 寛	数 学		教務部長	水泳
教 諭	石 原 孟	理 科	3 学年	3 年 1 組担任	ソフトテニス
教 諭	岡 村 真 輔	理 科		進路指導部長	ソフトボール
教 諭	橋 本 拓 史	理 科	2 学年	2 年 1 組担任	吹奏楽・弦楽、サッカー
教 諭	肥 塚 哲 也	保健体育	2 学年	2 学年主任	野球
教 諭	堤 邦 光	理 科	1 学年	1 年 3 組担任	バレー、野球
教 諭	板 倉 聡 子	芸術(音)		生徒指導部	吹奏楽・弦楽
教 諭	小 西 未 唯	英 語	1 学年	1 年 4 組担任	バスケットボール
教 諭	中 西 央	英 語	3 学年	3 年 3 組担任	バスケットボール
教 諭	宮 浦 聖	英 語	3 学年	3 年 4 組担任	野球、ESS
教 諭	森 田 美 也 子	英 語		進路指導部、1 学年副担任	放送メディア、バドミントン

職 名	氏 名	教 科	学 年	校 務 分 掌	部 顧 問
教 諭	山 下 明 子	英 語	2 学年	2 学年副主任、2 年 3 組担任	ソフトテニス、ESS
"	山 田 義 夫	"		進路指導部	ソフトテニス
"	小 原 理 恵	家 庭	1 学年	1 学年主任	家庭、卓球
養 護 教 諭	高 田 聡 子			総務部、保健部長	茶華道
任期付講師	駒 田 奏	数 学		教務部	陸上競技
臨 時 講 師	白 石 紀 生	理 科	1 学年	1 年 2 組担任	サッカー
"	矢 木 寛 志	国 語	2 学年	2 年 2 組担任	バレー、吹奏楽・弦楽
実 習 教 員	山 口 陽 子			総務部、生徒指導部、図書担当	バスケットボール、放送メディア
外国語指導助手	S・ロセル				
主 査	三 村 譲 治			庶務	
臨時事務職員	森 川 良 平			経理	
校 務 員	福 田 純 次			管理	
臨時校務員	西 下 武 志			管理	
講師(非常勤)	相 川 未 浩	保健体育			
"	大 本 壽 子	芸術(美)			
"	垣 内 慎 吾	地歴公民			
"	梶 伊 吹	保健体育			
"	川 端 雅 子	芸術(書)			
"	久 保 英 信	情 報			
"	坂 本 美 恵	英 語			
"	芝 野 ユ カ リ	国 語			
"	清 水 誠 朗	国 語			
"	橘 幸 男	数 学			
"	田 中 雅 光	数 学			
"	田 中 暢 子	国 語			
"	宮 藤 泰 則	理 科			
"	水 守 裕 史	情 報			
"	守 山 一 樹	数 学			
"	原 田 聡 枝	生花・茶作法			
県立学校業務支援員	俣 木 萌 々 奈				
学 校 医	岡 田 昭 代	内 科 医			
"	亀 本 博 雅	歯 科 医			
"	知 原 秀 弥	眼 科 医			
"	田 村 慎 一 郎	耳鼻科医			
薬 剤 師	三 枝 千 夏				

3 校務分掌



委員会組織

校 務 運 営 委 員 会 (購買・行事検討・ビジョン委員会(広報活動・進路活性化)含む)	校長 ○教頭 事務長 陶山 山本 大賀 岡村 小原 肥塚 野村
教育課程委員会(教科用図書選定委員会含む)	教頭 事務長 ○山本 三木 駒田 岡村 小原 肥塚 野村 教科主任 P T A 会長
図書委員会・図書選定委員会	教頭 ○山口 森田 佐々木 宮浦 教科主任
生徒指導委員会(いじめ対応委員会含む)	教頭 ○大賀 板倉 小林。 堤 矢木 中西 (いじめ：校長 学年主任 該当担任)
人権教育推進委員会(道德教育推進委員会)	教頭 ○佐々木 大賀 山本 岡村 小原 肥塚 野村 白石 橋本 小林。
特別支援教育推進委員会 (生徒支援委員会を含む)	校長 教頭 ○小林。 大賀 高田 山本 小原 肥塚 野村
探究活動推進委員会 (ふるさと貢献、インスパイア委員会含む)	教頭 事務長 ○石原 山本 陶山 中西 長石 山下 堤 野田 (事務室) 住本
I C T活用委員会(クラッシュ連絡委員会含む)	教頭 事務長 ○石原 山本 武友 長石 宮浦
学 校 保 健 安 全 委 員 会	校長 教頭 事務長 ○高田 陶山 大賀 小原 肥塚 野村 堤 山下 小林き 学校医 薬剤師 P T A 会長 P T A 保健体育委員
衛 生 委 員 会	校長 ○通信教頭 ○全日教頭 事務長 高田 (全日担当) 岡村 板倉 (通信担当) 宮本 (事務室) 三村
課 程 間 連 携 委 員 会	教頭 事務長 ○陶山 山本 大賀 教科主任 通信
課 外 活 動 運 営 委 員 会	教頭 事務長 ○大賀 板倉 小林。 各部活動顧問 P T A 会長
国際理解教育推進委員会	教頭 事務長 ○中西 小西 山下 宮浦 陶山 岡村 小原 肥塚 野村 森田 山田
校務支援システム運営委員会	教頭 ○山本 駒田 各教科主任

教科主任 国語：三木 地歴公民：佐々木 数学：武友 理科：石原 外国語：森田
保健体育：肥塚 芸術：板倉 家庭：小原 情報：山本
特別支援コーディネーター：小林

生徒

1 生徒数（令和4年5月1日現在）

学年		性別	男	女	計
1	年		8 5	7 5	1 6 0
2	年		7 6	8 3	1 5 9
3	年		7 3	8 3	1 5 6
合	計		2 3 4	2 4 1	4 7 5

2 生徒についての調査

(1) 出身校別生徒数

学年	中学校名		網	広	御	朝	夢	飾	飾	飾	山	大	大	灘	大	家	太	太	そ	計
	性別		干	畑	津	日	前	磨	磨	磨	陽	津	的		白	島	子	子	他	
1年	男		16	10	2	7	3	0	2	6	4	12	0	6	1	1	4	4	7	85
	女		5	14	3	8	3	3	3	8	3	8	0	4	0	0	4	5	4	75
	計		21	21	5	15	6	3	5	14	7	20	0	10	1	1	8	9	11	160
2年	男		5	10	4	10	5	2	1	3	0	13	0	6	2	0	5	5	5	76
	女		12	4	5	12	4	0	4	5	4	12	2	5	2	2	3	2	5	83
	計		17	14	9	22	9	2	5	8	4	25	2	11	4	2	8	7	10	159
3年	男		7	3	4	6	0	2	0	7	2	12	1	9	0	3	7	6	4	73
	女		3	6	9	16	2	1	3	7	3	12	2	4	1	1	5	4	4	83
	計		10	9	13	22	2	3	3	14	5	24	3	1	1	4	12	13	9	156
合計	男		28	23	10	23	8	4	3	16	6	37	1	21	3	4	16	15	16	234
	女		20	24	17	36	9	4	10	20	10	32	4	13	3	3	12	11	13	241
	計		48	47	27	59	17	8	13	36	16	69	5	34	6	7	28	29	30	475

(2) 生徒通学方法

学年	区分		自転車	徒 歩	山 電		J Rと 山 電	バスと 山 電	J Rと 自転車	その他	計
	性別				自転車	徒 歩					
1年	男		75	2	4	0	1	0	1	2	85
	女		59	1	11	0	0	0	0	4	75
	計		134	3	15	0	1	0	1	6	160
2年	男		65	1	9	0	0	0	1	0	76
	女		67	0	11	1	2	0	0	2	83
	計		132	1	20	1	2	0	1	2	159
3年	男		62	0	6	0	1	0	0	4	73
	女		67	0	14	0	0	0	0	2	83
	計		129	0	21	0	1	0	0	6	156
合計	男		202	3	19	0	2	0	2	6	234
	女		193	1	36	1	2	0	0	8	241
	計		395	4	56	1	4	0	2	14	475

(3) 生徒の体位

全国・県の平均値は令和２年度の値です。

			男 子			女 子		
			44回生	43回生	42回生	44回生	43回生	42回生
身 長【cm】	本 校	1 年次	165.9	167	168.6	156.1	155.8	155.7
		2 年次		169	169.6		156.6	156.0
		3 年次			170.3			156.2
	兵庫県平均		168.9	170.3	171.1	157.7	158.1	158.2
	全 国 平 均		168.8	170.2	170.7	157.3	157.7	157.9
体 重【kg】	本 校	1 年次	57.4	59.3	55	49.7	50.3	49.4
		2 年次		60.2	57.5		51.3	51.2
		3 年次			59.2			51.0
	兵庫県平均		57.8	59.7	61.9	51.4	51.9	52.7
	全 国 平 均		58.9	60.9	62.6	51.2	51.9	52.3

(4) 視力検査結果

(人)

学 年			1 年		2 年		3 年	
性 別			男 子	女 子	男 子	女 子	男 子	女 子
視力検査受検者数			85	75	76	83	73	83
視 力 検 査 結 果	裸 眼 視 力 者	A (1.0 以 上)	24	11	13	8	20	14
		B (0.9 ~ 0.7)	9	4	10	4	3	6
		C (0.6 ~ 0.3)	12	6	10	14	7	4
		D (0.2 以 下)	10	3	4	3	2	1
		合 計	55	24	37	29	32	25
	矯 正 視 力 者	A (1.0 以 上)	8	19	19	23	17	24
		B (0.9 ~ 0.7)	9	15	8	18	13	24
		C (0.6 ~ 0.3)	12	14	12	12	9	10
		D (0.2 以 下)	1	3	0	1	2	0
		合 計	30	51	39	54	41	58
	眼鏡などによる 矯正率(%)		35.3	68	51.3	65.1	56.2	69.9

3 令和3年度進路状況

(1) 大学・短大等延べ合格者数

(令和4年5月1日現在)

区分	41 回 生	過 年 度 卒	計
国 公 立 大	3	2	5
私 立 大	1 6 3	0	1 6 3
国 公 立 短 大	0	0	0
私 立 短 大	9	0	9
専 修 ・ 各 種 学 校	3 7	0	3 7

(2) 大学・短大最終進路先 (41回生最終進路先)

区分	国公立大		私 立 大		国公立短大		私 立 短 大		専修・各種学校	
学部・系統	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
文・人文・外国語・国際等			5	7						
法・経済・経営・商等	1		26	9						
理学(数学・化学・物理等)			2	1						
工学(機械・電気・建築等)			6							
農・水産・畜産・獣医等	1									
医 ・ 歯 ・ 薬 等			3	3						
看 護 ・ 福 祉 等		1	7	13				1	3	11
家政・栄養・生活科学等			1	4				1		
情 報 等			3						7	5
教員養成・体育・芸術等			4	9				5		
そ の 他										6
計	2	1	57	46	0	0	0	7	10	22

(3) 職業別就職状況 (41回生最終進路先)

分類	性別	男	女	分類	性別	男	女	分類	性別	男	女
公 務 員		1	1	サ ー ビ ス				輸 送 ・ 機 械 運 転			
専 門 ・ 技 術				保 安				建 設			
事 務			1	農 林 漁 業				運 搬			
販 売			1	生 産 工 程	1	2		そ の 他			
								計		2	5

通 信 制 課 程



教 育 計 画

1 学校経営の重点

(1) 教育方針

「創造・友愛・清浄」の校訓を具体的に実践し、「兵庫が育むところ豊かで自立する人づくり」
—「未来への道を切り拓く力」の育成—を行う。

(2) 経営目標

- ア 基礎学力の定着を図り、自己を生かし、個性や創造力を伸ばす人づくり
- イ 命と人権を大切にし、共に生きるところ豊かな人づくり
- ウ 自尊感情を高め、社会の中で自立し、清く正しく生きる人づくり
- エ 家庭や地域社会と連携し、地域から愛され信頼される開かれた学校づくり

(3) 本年度の学校経営の重点

基礎学力の定着とそれを活用する力の育成、こころの教育の充実を図り、「生きる力」を育む学校づくりを推進する。

ア 学習指導の充実

(ア) 自学自習の促進を図る。

- ・新入生オリエンテーションや継続的な「学習タイム」の設定、生徒への積極的な働きかけに努めることによって、基礎学力の定着を図る。
- ・面接指導等を通じて、日常生活における家庭学習時間の確保や学習の習慣化を図る。
- ・「NHK高校講座」などの放送教材や視聴覚教材等の活用により、学習内容の理解の効率化を図る。

(イ) 生徒の実態把握と実態に即した教材研究・教材開発に努める。

- ・コンピュータの活用により個々の生徒の学習診断を実施し、個に応じた学習指導に努める。
- ・学習意欲を起こさせる課題内容の精選・吟味や添削指導の工夫に努める。
- ・多様な生徒に対応できる学習教材や補助教材の開発、指導法の工夫に努める。

(ウ) 道徳教育の観点から、豊かなこころをもち、共に生きる態度を養う。

- ・各教科指導や総合的な探究の時間を通じて、学習・仕事ともに真剣に取り組む態度を養う。
- ・学校行事・特別活動に積極的に参加させ、仲間と助け合い励まし合う精神を養う。
- ・自国の文化や伝統を大切にするとともに、他国の歴史や文化について理解を深め、国際的視野の育成に努める。

(エ) 自己実現をめざした進路指導の充実を図る。

- ・キャリア教育の推進を通じて、望ましい勤労観や職業観を育成し、自己を見つめ、目標とする将来像を確立する能力を養う。
- ・関係機関や生徒の職場との連携を図りながら、就労体験や体験活動の充実に努める。
- ・通信制課程としての特色を生かした「総合的な探究の時間（探究活動-1・2）」の推進に努める。

(オ) 年2回の協力校連絡協議会において各校の取組を確認し、課題があれば解決策等を考え、協力校や教育連携協定校との連携を充実させ、協力校での学習効果を一層高める方法について協議する。

- ・学校行事等を通して、本校生としての一体感を高める。
- ・県立神出学園・県立山の学校等の教育連携協定校との連携を密にし、協力して生徒の支援及び指導に当たる。

(カ) 例えば「大学受験希望者の増加」のような進路希望の多様化に対応するよう、学習指導の工夫と研究に努める。

イ 生徒支援の充実

- (ア) 自主性と自律性を培い、自己有用感や成就感を体得させ、自尊感情を高めていく。
 - ・生徒自らが計画性をもって生活し、いきいきと暮らす態度や見通しをもつ姿勢を養う。
 - ・自己のありのままの姿をとらえ、将来の目標に向かって現在の生活を改善・向上していく能力・態度を養う。
- (イ) 道德教育の推進によって、倫理観の育成と人間尊重の精神に基づく教育の充実に努める。
 - ・多様な人々との交流を通じて、道德性の涵養に努めるとともに、道德的实践を深め、人間としての在り方・生き方を深める。
 - ・教育相談やキャンパスカウンセリングを活用し、望ましい人間関係の構築に努める。
 - ・好ましい人間関係を築き、豊かなこころを育て、「いじめを生まない土壌づくり」に取り組む。
 - ・交通ルールを遵守し、生命を大切にする態度を養う。
- (ウ) 他者と共に生きる力を涵養する。
 - ・思いやりのこころをもち、仲間と共に生きる豊かなこころを育む。
 - ・個別面談、グループ面談に努め、人間的なふれあいの機会の増加を図る。
- (エ) 社会の一員としての自覚を高める。
 - ・新入生歓迎交流会や公開講習会等を通じて、人間的なふれあいの喜びを体得させる。
 - ・文化教育活動、職場訪問等を通じて、創造の喜び、奉仕の尊さを体得させる。
- (オ) 震災の教訓に学ぶ新たな防災教育の推進に努める。
 - ・日常的に、災害に備える生活感覚を養うとともに、防災体制のいっそうの充実を図る。
 - ・互いに助け合い、共に生きることの大切さや家族の絆等について考えさせる。
- (カ) 家庭や職場との連携により、生徒の理解を図る。
 - ・家庭状況の把握により、学習面・生活面の支援の充実を図る。
 - ・急増する若年齢生徒の保護者を対象に保護者会を開催する等、家庭の理解を得るとともに連携を深める。
 - ・勤務先との連携により、就労状況等生徒の実態の把握に努める。

ウ 教育環境の整備

- (ア) 課程間連携を密にする。
 - ・全日制課程と共用する施設・設備及び教材等の効率的活用を図る。
 - ・研修や連絡調整会議等を合同で実施し、相互理解を深める。
- (イ) 教職員の意識改革と資質の向上をめざし、校内研修のいっそうの充実を図る。
- (ウ) 各部・各年次間の連携を密にし、全教職員の共通理解のもとでP D C Aサイクルの円滑な実施を図る。
- (エ) コンピュータ等のI C T教育機器やデジタル教材の充実を図り、より効果的な利用法を研究する。
- (オ) 「人づくりは環境から」をモットーに、校内の美化や緑化等、環境づくりを進める。また、冷暖房設備を増設し、面接指導日の学習環境の整備を図る。

2 教科指導及び生徒支援（特別教育活動を含む）の重点

(1) 教科指導の重点

重点目標：基礎学力の定着を図るとともに、通信制の特色ある学習形態を通して主体的に学習する態度を確立させ、生涯学習への姿勢を育てる。

ア 各教科における基礎的・基本的な内容を明確にし、その系統的・発展的な内容の精選と学び方の指導の徹底を通して、主体的に学習する態度を育てる。特に学校設定科目「数学入門」「英語入門」の充実を図り、新入生オリエンテーションや「学習タイム」の活用を通して系統的・発展

的に学ぶ意義や喜びを体得できるよう努める。

- イ コンピュータを活用して個々の生徒の学習達成状況を的確に把握し、一人ひとりの到達点を表すきめ細かな評価を行い、指導と評価の一体化を図るとともに、個に応じた指導を進める。
- ウ 学習報告課題の添削指導や面接指導を通して、人間的なふれあいに基づく学習指導を行う。
- エ 教科指導を通して、広い視野から国際理解、環境、福祉、人権等について理解を深めさせる。
- オ 大学進学を目指す生徒の増加により、教科内容の質問に応じるシステムを強化する。

(2) 進路支援の重点

重点目標：「自学自習」を基本に、将来を展望しながら学び続けていくことのできる資質を養い、望ましい職業観や勤労観を育むとともに、自己実現を図る能力を育成できるよう、計画的な進路支援を行う。

- ア 勤労体験や生活体験発表会を通して、望ましい職業観や勤労観を育むとともに、自己実現をめざす力を養うことができるよう支援する。
- イ 基礎・基本の定着を図り、生涯にわたって学び続けることのできる力を養う。
- ウ 調査・面接、情報交換等を通して、一人ひとりの生徒の適性・能力・学力等を十分把握し、個に応じた支援を行う。
- エ 『学習のしおり』『進路の手引き』等を作成し、進路について思索する手がかりを提供する。
- オ 機会あるごとに進路情報を提供し、進学・就職に対する生徒の意識を高める。また、NPO団体と協力し、引きこもりのため就労できていない生徒に対する短期間の就労機会を提供する。

(3) 生徒支援の重点

重点目標：生徒個々の実態を把握し、人間的なふれあいに基づく指導をいっそう充実させるとともに、温かい人間関係の醸成に努め、生徒がいつでも相談できる信頼関係の構築に努める。また、基本的な生活態度と自己教育力の向上を図り、自己有用感や成就感を実感できるようにする。

- ア 面接指導日における教育活動を通して、通信制生徒としての基本的な生活・学習態度を育てる。
- イ 面接指導日の学校生活の中で、職員と生徒、生徒同士の人間的なふれあいを通して、思いやりのこころを育み、温かい人間関係の育成に努める。
- ウ 特別活動や部活動等、教育活動全体を通して、自主性、自律性、協調性を養い、自己有用感や成就感を体得させる。
- エ 自他の生命の尊重を基盤とした、交通安全、環境衛生等の安全教育の徹底を図る。
- オ 生徒会活動の活性化を図り、健全な組織づくりと運営をめざす。
- カ キャンパスカウンセリングの効果的な活用により教育相談体制をいっそう充実させ、生徒の実態調査や家庭との連携を密にすることにより、個々の生徒の実態を把握し、生徒の理解に努める。
- キ 「いじめ防止基本方針」に従い、いじめは相手の人権を踏みにじる行為であり、決して許されるものではないことを生徒に理解させるとともに、日頃より組織的対応を心がけ、「未然防止」と「早期発見」に取り組む。
- ク 幅広い年齢層の生徒の実態に即し、多様な交流の場を設け、いきいきとした学校生活をめざすとともに、道徳性の涵養に努める。
- ケ 危機管理を徹底するとともに、事故発生時の対応について、全職員で組織的対応ができるよう適宜マニュアルの見直し・改善を行い、系統的な研修を行う。

(4) 人権教育の重点

重点目標：「人権教育基本方針」を踏まえ、生徒がさまざまな活動や体験を通して、確かな人権意識を身に付け、自己実現と「共に生きる社会」の構築に向け、主体的に取り組む意欲と態度を育成する。

- ア 『HUMAN RIGHTS - いま私がひらく未来 - 』等を活用して基本的人権尊重の精神の高揚を

図るとともに、限られた面接指導時間を意義あるものにするために指導方法を工夫する。

イ 補助教材『魚吹』や年次通信での教材提示を積極的に行う。

ウ 年間を通して、生活体験をテーマとする作文の提出を呼びかけ、幅広い年齢層の生徒の自発的な意見による作文を教材として、身近なところから生徒の問題意識を喚起する。

エ 他人を思いやる心と人権意識を育むとともに、いじめは人権侵害であり、人として決して許される行為でないことを生徒に理解させる。

3 健康管理に関する指導の重点

重点目標：あらゆる教育活動を通して、生命の尊さを理解させ、生涯にわたって健康で安全な生活を送ることができる能力・態度・習慣を培う。

- (1) 人間尊重の精神に基づき、種々の疾病についての理解を深めるとともに、安全管理への取組体制の確立を図る。
- (2) 日常生活や通学に単車・自動車を利用する生徒が多いので、交通ルールを遵守させ安全教育の徹底を図る。
- (3) 学校で行う健康診断の他に、面接指導時や補助教材『魚吹』等を通して、生徒が主体的に生涯にわたって、健康づくりができる習慣を身に付けさせる。
- (4) 突発的な災害に対応して適切な安全措置が講じられるよう組織づくりをし、指導内容・方法の充実に努める。
- (5) 定期的に施設、設備の安全点検を行い、事故防止に努める。
- (6) 教育相談活動の一層の充実に努める。

4 研究テーマ

「多様な生徒の高校卒業の願いを実現できる学校づくりについて」

- (1) R（学習報告課題）・S（面接指導）・T（試験）の方法・内容などについて
 - ア 自学自習による基礎・基本の定着化を図るため、学習報告課題の内容の精選に努めるとともに、添削指導・面接指導・試験の効果的な内容と方法について研究する。
 - イ 学習面の遅れがある生徒に対応するため、入門科目や補助教材について研究する。
 - ウ ハイレベルの指導を求める生徒や大学受験を目指す生徒に対応するための教科指導について、その内容と方法を研究する。
 - エ 添削指導・面接指導を補う放送教材の活用について研究し、教育のICT化を図る。
- (2) 学校評価の在り方について
学校評価システムの充実に図り、評価結果に基づき日々の教育活動の改善の在り方を探求する。
- (3) 生徒個人データの取り扱いについて
生徒の各種個人情報取り扱いについて、適切かつ安全な運用と管理方法を研究する。
- (4) 職員の協働体制と勤務時間の適正化の在り方について
 - ア 各種委員会の活性化を図り、校務運営に反映させることで職員の協働体制を確立する方策について研究する。
 - イ 校務分掌を常に見直し、円滑な業務の連携と遂行による勤務時間の適正化を進める方策について研究する。
- (5) 生徒の学習意欲・卒業意欲を向上させる方法について
生徒の学習意欲を喚起させる教材の開発や卒業意欲を向上させる学習支援の方法について研究する。
- (6) 通信制教育の啓発とその広報の在り方について
 - ア 情報発信のためのホームページの充実に研究する。

イ 通信制教育の理解と啓発のための効果的な関係施設・中学校訪問の方法を研究する。

(7) 通信制の生徒に対応した学校行事・部活動の在り方について

ア 仲間づくりに注力した新しい学校行事の実施について研究する。

イ 部活動の加入率の向上と活性化を図る方策について研究する。

5 高校生ふるさと貢献・活性化事業で実施する内容

(1) 地域とふれあう公開講習会

幅広い年齢層の生徒の職業、特技、趣味、資格を生かして、生徒個人の多様な興味や関心を引き出し、生徒自らが作品を制作する体験学習の機会を持つことで、充実感・達成感を体験させる。地域の方々にも参加を呼びかけ、地域住民との交流の機会を提供する。

(2) 地域クリーン作戦

生徒会執行部が中心となって生徒に呼びかけ、学校周辺の通学路や近隣の公園の清掃活動を実施する。

(3) 地元の伝統行事への参画

地域で開催される伝統的行事の運営スタッフとして参画し、網干地区の伝統・文化について理解を深め、郷土愛を育む態度を養うとともに、地域に貢献することで生徒の自己有用感の醸成を図る。

(4) 網干地域活性化プロジェクト

大学・姫路市・地元自治会・企業・漁協・農協と連携し、高校生として地元「網干」の活性化活動に参加し、創造性を発揮してプロジェクトに貢献するとともに自主的に学んだり行動したりする力を養成する。

6 高校生就業体験事業で実施する内容

多様な生徒に対して就労を奨励している。また、アルバイトも含め、就労している生徒が多いので、進路相談やアドバイスの充実を図っている。さらに、生活体験発表会等の機会を通じ、望ましい職業観・勤労観の育成に努める。

平成20年度より県立神出学園、県立山の学校との教育連携協定を結び、学校設定科目「体験活動」を創設し、単位認定することで、両校でのさまざまな職場体験や林業・農業体験等の活動を引き続き推進していく。

7 高校生キャリアノートの活用に関する内容

自己の将来を描き、学ぶことや働くことの意義・役割等を理解させ、キャリアプランニング能力を育成するために、キャリアノートを活用して、個々の生徒の実情に応じた指導・支援を推進する。

8 インスパイア・ハイスクール事業で実施する内容

望ましい社会人としての在り方・生き方を考えさせるために、専門家によるコミュニケーション講座や自己啓発講演会を実施し、自分に自信が持てない生徒にコミュニケーション能力を育成し、併せて自己有用感・自尊感情の向上を図る。

2 教育課程（令和3年度以前入学生徒）

教科・科目等			類型	通信制課程 普通科								備考	
教科	科目	標準 単位数	1 年次		2 年次以上				単位数	計			
			必修 25	選択 0～20	必修 17	選択 2～4 2～6 22～78							
国語	国語総合	4	4						4	4・7・8・ 11・12・ 15	「国語総合」は分割履修		
	国語表現	3						3					
	現代文B	4						4					
	古典B	4						4					
地理歴史	世界史B	4	2		2				4	6・8	「世界史B」は分割履修 「日本史A」「地理A」は1科目選択必修		
	日本史A	2				2		0・2					
	地理A	2				2		0・2					
公民	現代社会	2	2						2	2・4・6			
	倫理	2						2					
	政治・経済	2						2					
数学	数学Ⅰ	3			3				3	6・8・ 10・12・ 14	「数学Ⅱ」は分割履修 「数学入門」は学校設定科目		
	数学Ⅱ	4						4					
	数学A	2						2					
	数学B	2						2					
	数学入門	3	3					3					
理科	科学と人間生活	2	2						2	5・8・ 11・14	「科学と人間生活」を含む2科目選択必修		
	物理基礎	2						3					
	化学基礎	2						3					
	生物基礎	2						3					
	地学基礎	2						3					
保健体育	体育	7～8	3		4			2	7・9	9・11	「体育」は継続履修 「保健」は継続履修		
	保健	2	1		1			2					
芸術	音楽Ⅰ	2					2		0・2	2・4・6・ 8・10・ 12	「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「書道Ⅰ」は1科目 選択必修		
	音楽Ⅱ	2						2					
	美術Ⅰ	2					2	0・2					
	美術Ⅱ	2						2					
	書道Ⅰ	2					2	0・2					
	書道Ⅱ	2						2					
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3			3				3	6・8・ 10・12	「コミュニケーション英語Ⅱ」は分割履修 「英語入門」は学校設定科目		
	コミュニケーション英語Ⅱ	4						4					
	英語会話	2						2					
	英語入門	3	3					3					
家庭	家庭総合	4	2		2				4	4	「家庭総合」は継続履修		
情報	社会と情報	2	2						2	2			
体験	美術陶芸	2		2				2	0・2	0・1・ 2・3・ 4・5・6・ 7・8・9・ 10・11・ 12・13・ 14・15・ 16・17・ 18・19・ 20・22	学校設定教科・科目 神出学園での学習の成果を認定		
	伝統文化	2		2				2					
	チャレンジ体験	2		2				2					
	レクリエーションスポーツ	2		2				2					
	美術工芸	2		2				2					
	ボランティア実践	2		2				2					
	共生社会と人間	1		1				1					
	農園創造	1		1				1					
	創作料理	1		1				1					
	動物飼育	1		1				1					
	オブジェ制作	1		1				1					
	ガーデニング	1		1				1					
	行動入門Ⅰ	1		1				1					
	行動入門Ⅱ	1		1				1					
	エコ環境	2		2				2					
	森林学習・実習	4		4				4					
	造園学習・実習	2		2				2					
	ものづくり	4		4				4					
	野外活動	2		2				2					
	キャリア	2		2				2					
	文化	2		2				2					
	生涯スポーツ	2		2				2					
	地域交流	2		2				2					
商業	ビジネス基礎	2～6						3	0・3	0・3・6・ 9・12・ 15・18			
	マーケティング	2～6						3					
	ビジネス経済	2～6						3					
	ビジネス経済応用	2～6						3					
	経済活動と法	2～6						3					
	簿記	2～8						3					
家庭	子どもの発達と保育	2～6						3	0・3	0・3・6・ 9			
	生活と福祉	2～6						3					
	フードデザイン	2～6						3					
情報	情報の表現と管理	2～4						2	0・2	0・2			
総合的な探究の時間			3～6	1		2				3	3	平成30年度以前は、総合的な学習の時間	
各学科に共通する各教科・科目の単位数計			24	0～20	15		2～10	2～48	46～116	単位制のため、2年次以上の履修単位数は 年間2～30単位			
主として専門学科において開設される各教科・科目の単位数計			0		0		0	0～29	0～29				
単位数計			25～30		2～30(各年次ごと)				74～148				
ホームルーム活動週当たり時数			各年次ごとに年間20時間を設置										
週当たり授業時数			年間面接指導日数30日										
始業時刻・終業時刻			始業時刻：9時00分 終業時刻：16時40分										

教育課程（令和４年度入学生徒）

教科・科目等			類型		通信制課程 普通科								備考	
教科	科目	標準 単位数	1年次		2年次以上					単位数	計			
			必修	選択	必修	選択								
						25	0～22	17	2～6			0～49		
国語	現代の国語	2	2							2	4・7・8・ 11・12・ 15			
	言語文化	2	2							2				
	論理国語	4					4			0・4				
	文学国語	4					4			0・4				
	国語表現	4					3			0・3				
地理歴史	歴史総合	2	2							2	4			
	地理総合	2			2					2				
公民	公共	2	2							2	2・4・6			
	倫理	2					2			0・2				
	政治・経済	2					2			0・2				
数学	数学Ⅰ	3			3					3	6・8・ 10・12・ 14	「数学Ⅱ」は分割履修		
	数学Ⅱ	4					4			0・4				
	数学A	2					2			0・2				
	数学B	2					2			0・2				
	数学入門	3	3							3				
理科	科学と人間生活	2	2							2	5・8・ 11・14	「科学と人間生活」を含む 2科目選択必修		
	物理基礎	2					3			0・3				
	化学基礎	2					3			0・3				
	生物基礎	2					3			0・3				
	地学基礎	2					3			0・3				
保健体育	体育	7～8	3		4		2			7・9	9・11	「体育」は継続履修 「保健」は継続履修		
	保健	2	1		1					2				
芸術	音楽Ⅰ	2				2				0・2	2・4・6・ 8・10・ 12	「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「書道Ⅰ」は1科目 選択必修		
	音楽Ⅱ	2					2			0・2				
	美術Ⅰ	2				2				0・2				
	美術Ⅱ	2					2			0・2				
	書道Ⅰ	2				2				0・2				
	書道Ⅱ	2					2			0・2				
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3			3					3	6・8・ 10・12	「英語コミュニケーションⅡ」は分割履修 「英語入門」は学校設定科目		
	英語コミュニケーションⅡ	4					4			0・4				
	論理・表現Ⅰ	2					2			0・2				
	英語入門	3	3							3				
家庭	家庭総合	4	2		2					4	4	「家庭総合」は継続履修		
情報	情報Ⅰ	2	2							2	2			
体験	美術陶芸	2		2					2	0・2	0・1・ 2・3・ 4・5・6・ 7・8・9・ 10・11・ 12・13・ 14・15・ 16・17・ 18・19・ 20・22	学校設定教科・科目 県立神出学園での学習の成果を認定		
	伝統文化	2		2					2	0・2				
	チャレンジ体験	2		2					2	0・2				
	レクリエーションスポーツ	2		2					2	0・2				
	美術工芸	2		2					2	0・2				
	ボランティア実践	2		2					2	0・2				
	共生社会と人間	1		1					1	0・1				
	農園創造	1		1					1	0・1				
	創作料理	1		1					1	0・1				
	動物飼育	1		1					1	0・1				
	オブジェ制作	1		1					1	0・1				
	ガーデニング	1		1					1	0・1				
	行動入門Ⅰ	1		1					1	0・1				
	行動入門Ⅱ	1		1					1	0・1				
	エコ環境	2		2					2	0・2				
	森林学習・実習	4		4					4	0・4				
	造園学習・実習	2		2					2	0・2				
	ものづくり	4		4					4	0・4				
	野外活動	2		2					2	0・2				
	キャリア	2		2					2	0・2				
	文化	2		2					2	0・2				
	生涯スポーツ	2		2					2	0・2				
	地域交流	2		2					2	0・2				
	商業	ビジネス基礎	2～6					3			0・3	0・3・6・ 9・12・ 15・18		
		マーケティング	2～6					3			0・3			
		ビジネス・マネジメント	2～6					3			0・3			
		グローバル経済	2～6					3			0・3			
		ビジネス法規	2～6					3			0・3			
簿記		2～8					3			0・3				
家庭	保育基礎	2～6					3			0・3	0・3・6・ 9			
	生活と福祉	2～6					3			0・3				
	フードデザイン	2～6					3			0・3				
情報	情報の表現と管理	2～4					2			0・2	0・2			
総合的な探究の時間		3～6	1		2					3	3	時間の名称「探究活動」		
各学科に共通する各教科・科目の単位数計			24	0～22	15	2～6	0～49	0～22	41～116	単位制のため、2年次以上の履修単位数は 年間2～30単位				
主として専門学科において開設される各教科・科目の単位数計			0		0	0	0～29	0	0～29					
単位数計			25～30		2～30(各年次ごと)					74～148				
ホームルーム活動週当たり時数			各年次ごとに年間20時間を設置											
週当たり授業時数			年間面接指導日数30日											
始業時刻・終業時刻			始業時刻：9時00分 終業時刻：16時40分											

教育課程編成の基本方針

ア 生徒一人ひとりの習熟度や興味関心など、個に応じた教育課程編成を基本とする。

新入生に対して、通信制での学び方（自学自習）の指導をはじめとして、基礎・基本の定着に重点を置く受講科目を設定している。また、３年卒業を希望する生徒および時間をかけて学びたい生徒のいずれにも対応できるよう、必修科目を中心に、無理のない受講単位数を設定している。

生徒が自由に科目選択を行い、計画的・積極的に学習し、学ぶ喜びを体験できるように、高年次では商業科・家庭科をはじめ多くの選択科目を設置している。

平成12年度より実施してきた総合的な学習の時間の成果をもとに、より精選され充実した総合的な探究の時間として「探究活動」を実施している。

イ 年度途中転入生や高等学校卒業程度認定試験（高認）や旧大検などによる認定単位を有する生徒、３年卒業を希望する生徒、時間をかけて学びたい生徒など、多様な生徒に対応できる多様な選択科目を含む教育課程を編成する。また、自由な選択を可能にするためにスクーリング時間割の工夫や一部科目で二年間継続履修するなど、編成した教育課程を効果的に運用する工夫を行う。なお、旧教育課程において入学した生徒が在籍している間は、旧教育課程科目を開講する。

3 行事等年間計画表

	学 校 行 事	スクーリング	生徒会行事等	その他の行事
4	入学式（10日） 開講式（17日）	24,25日	クラス役員選出	新入生オリエンテーション(13,14日)
5	耳鼻科・歯科検診(22日) 内科検診（8日） 新入生歓迎交流会（15日） 眼科検診（28日）	8,9日 22,23日	前期生徒総会（22日）	防災行事（23日）
6	キャリアガイダンス（19,20日）	5,6日 19,20日		
7	校内生活体験発表会(10日)	3,4日（7月試験） 10,11日		進路保護者会（16日）
8		21,22日		
9	文化教育活動（4日）	4,5日 18,19日		西播磨・但馬地区定通制 生活体験発表大会(10日)
10		2,3日（10月試験） 9,10日 23,24日		兵庫県定通・近畿地区通信制 生活体験発表大会（8日） オープン・ハイスクール（28日）
11	創立記念日（1日）	13,14日	後期生徒総会・生徒会 役員認証式（13日）	地域クリーン作戦（13日） インスパイア・ハイスクール事業(14日) 懇談会（17,18日） オープン・ハイスクール（25日）
12		11,12日		
1		8,9日（1月試験） 22,23日		
2	閉講式（19日） 卒業式（26日）	19日（受講指導）		

職 員

1 定員・現員表

(令和4年5月1日現在)

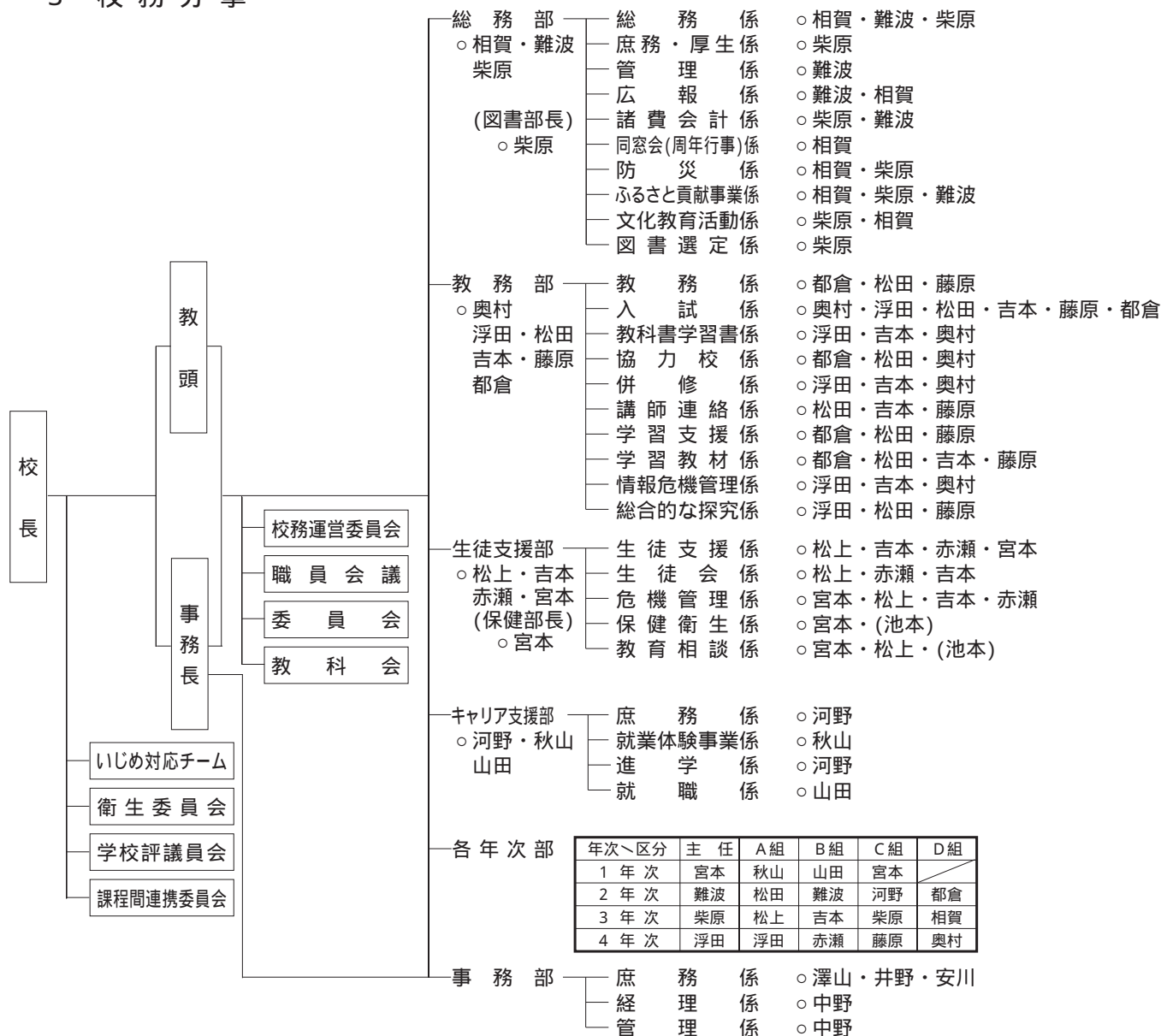
区分	本 務 職 員						非 常 勤 職 員 等							
職名	教頭・教諭	臨時講師	事務職員	事務職員	技術職員	合計	学 校 医 等					養護教員	時間講師	任用計職年員度
							内科医	眼科医	耳鼻科医	歯科医	薬剤師			
定員	16		2	1	1	20	1	1	1	1	1	1		
現員	14	2(1)	2	1	1	20(1)	1	1	1	1	1	1	9	1

(注) () は産休・育休等代替内数

2 職 員 組 織

職 名	氏 名	教 科	年 次	校務分掌	部 顧 問
校 長	松 木 知 二				
教 頭	吉 田 博 士				
事 務 長	田 中 隆 之				
主 幹 教 諭	河 野 誉	数 学	2 年次 C 組担任	キャリア支援部長・ 進路指導担当	卓球
主 幹 教 諭	松 上 裕 美	家 庭	3 年次 A 組担任	生徒支援部長・ 生徒指導担当	卓球
教 諭	松 田 佐 千 子	国 語	2 年次 A 組担任	教務部	卓球
"	宮 本 知 子	国 語	1 年次主任・C 組担任	生徒支援部・保健部長	バドミントン
"	柴 原 一 嘉	地歴・公民	3 年次主任・C 組担任	総務部・図書部長	バスケットボール
"	奥 村 匡	地歴・公民	4 年次 D 組担任	教務部長	コンピュータ
"	相 賀 勇 人	数 学	3 年次 D 組担任	総務部長	剣道
"	浮 田 和 昭	理 科	4 年次主任・A 組担任	教務部	バスケットボール
"	山 本 祐 衣	理 科			
臨時講師	山 田 剛 希	理 科	1 年次 B 組担任	キャリア支援部	バドミントン
教 諭	秋 山 雅 彦	保 健 体 育	1 年次 A 組担任	キャリア支援部	剣道
臨時講師	藤 原 花 帆	保 健 体 育	4 年次 C 組担任	教務部	バレーボール
教 諭	吉 本 ゆ う 子	家 庭	3 年次 B 組担任	教務部・生徒支援部	コンピュータ
"	都 倉 睦 美	英 語	2 年次 D 組担任	教務部	バレーボール
臨時講師	赤 瀬 颯 一	英 語	4 年次 B 組担任	生徒支援部	剣道
教 諭	難 波 香 里	商 業・情 報	2 年次主任・B 組担任	総務部	バドミントン
事務職員	中 野 有 未			経 理・管 理	
"	安 川 奈 槻			庶 務	
技 術 員	井 野 和 雄			庶 務	
校 務 員	澤 山 裕 恵			庶 務	
養 護 教 員	池 本 彩 乃				
講師(非常勤)	末 吉 勇 貴	国 語			
"	垣 内 慎 吾	地歴・公民			
"	山 本 正 人	理 科			
"	川 端 雅 子	書 道			
"	井 野 弥 生	音 楽			
"	大 本 壽 子	美 術			
"	山 田 武 司	情 報			
"	大 垣 輝 行	商 業			
"	久 保 英 信	商 業			
特別支援教育支援員	吉 田 久 美 子				
学 校 医	岡 田 昭 代	内 科 医			
"	西 垣 恵 行	眼 科 医			
"	中 田 道 広	耳 鼻 科 医			
"	手 井 幸 男	歯 科 医			
薬 剤 師	三 枝 千 夏				

3 校務分掌



各種委員会

校務運営委員会	(校長)(事務長)	○教頭、各部長、各学年次主任
教育課程委員会	(教頭)	○教務部長、各教科主任
生徒支援委員会	(教頭)	○生徒支援部長、生徒支援部1名(吉本)、各学年次主任
キャリア支援委員会	(校長)	○キャリア支援部長、キャリア支援部全員、3年次主任、4年次主任
いじめ対応チーム	(校長)	○教頭、生徒支援部長、保健部長、各学年次主任、養護教員
特別支援教育推進委員会	(校長)(教頭)	○保健部長、各部長、各学年次主任、養護教員
インスパイア事業推進委員会	(校長)(事務長)	○教頭、各部1名(柴原、都倉、宮本、秋山)
人権(道徳)教育推進委員会	(教頭)	○人権主任(難波)、各学年次主任、道徳教育推進教師(地歴公民科主任)
課程間連携委員会	(教頭)	○総務部長、生徒支援部長、教務部長、体育科主任、家庭科主任
学校保健委員会	(教頭)	○保健部長、生徒支援部長、教務部長、各学年次主任、養護教員
学校評価委員会	(校長)(事務長)	○教頭、各部長、各学年次主任
衛生委員会	(校長)(事務長)	○教頭(通)、保健部長、教頭(全)、担当者(全)、宮本(通)、事務室、産業医
職員研修委員会	(校長)	○教頭、各部1名(相賀、松田、宮本、山田)
行事検討委員会	(校長)(教頭)	○総務部長、各部長
網干活性化プロジェクト	(校長)	○教頭、各部長、生徒支援部全員
ホームページ委員会	(教頭)	各部1名 ○相賀、藤原、赤瀬、山田

教科主任

国語	地歴公民	数学	理科	保健体育	芸術	外国語	家庭	情報	商業
宮本	柴原	相賀	浮田	藤原	吉本	赤瀬	吉本	難波	難波

生徒

1 生徒数（令和4年5月1日現在）

(1) 在籍生徒数

年次 \ 性別	男	女	合 計
1 年 次 生	50	94	144
2 年 次 生	106	108	214
3 年 次 生	84	146	230
4 年 次 生	91	97	188
合 計	331	445	776

(2) 他校からの併修生

年次(学年)	形態	定 通 併 修						連 携 併 修				合 計
	学校	錦 城		豊 岡		阪神昆陽		西脇北		姫路北		
	性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
1 年 次 生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	23	45
	0		0		0		0		45			
2 年 次 生	0	0	3	2	0	0	18	22	15	28	88	
	0		5		0		40		43			
3 年 次 生	0	0	0	0	0	0	9	2	15	8	34	
	0		0		0		11		23			
4 年 次 生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0		0		0		0		0			
合 計	0	0	3	2	0	0	27	24	52	59	167	
	0		5		0		51		111			

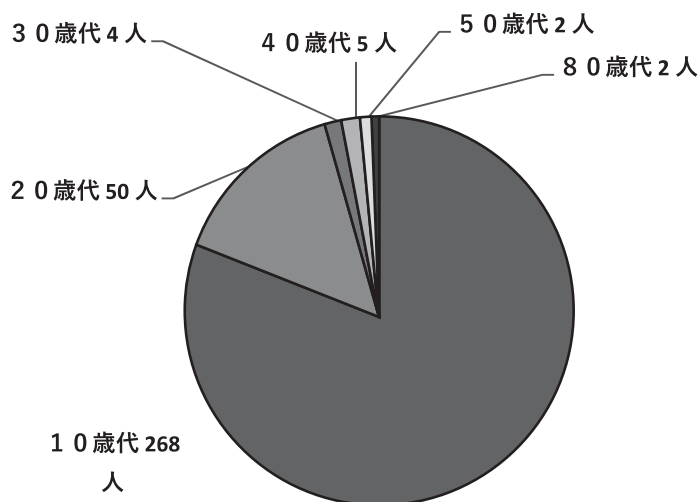
2 生徒についての調査

(1) 各市・郡別生徒数 (令和4年5月1日現在)

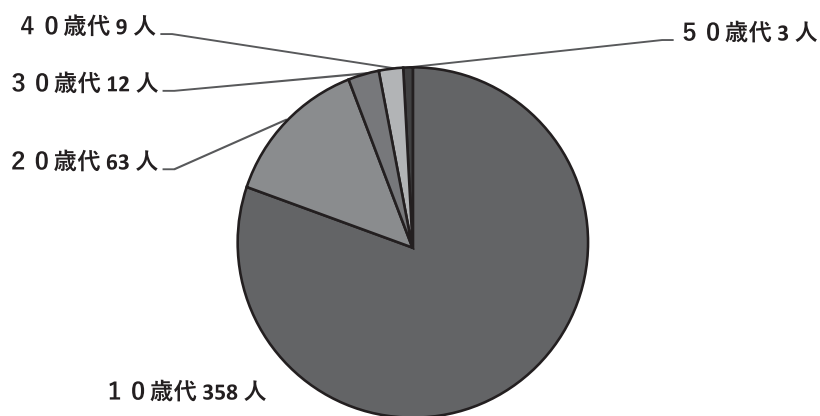
市・郡	1 年 次			2 年 次			3 年 次			4 年 次			合 計		
	女	男	計	女	男	計	女	男	計	女	男	計	女	男	計
神戸市				2		2		3	3		2	2	2	5	7
伊丹市		2	2	4	4	8	2	3	5	4	2	6	10	11	21
尼崎市	2	1	3	5	4	9	1	8	9	2	2	4	10	15	25
西宮市		2	2	5		5	1	3	4		2	2	6	7	13
三田市					1	1	1		1		1	1	1	2	3
川西市	1	2	3				1	1	2		1	1	2	4	6
宝塚市		2	2	1	1	2	1	1	2		2	2	2	6	8
丹波市				1		1							1	0	1
丹波篠山市								1	1		1	1	0	2	2
川辺郡							1	1	2	1		1	2	1	3
明石市	1		1		3	3	1	3	4		2	2	2	8	10
加古川市	3	5	8	6	6	12	6	9	15	12	4	16	27	24	51
高砂市	2	1	3	3	4	7	5	8	13	5	5	10	15	18	33
加東市								2	2				0	2	2
加西市	4	1	5	5	1	6		1	1		1	1	9	4	13
小野市		3	3	3		3	2	4	6	1		1	6	7	13
西脇市	2	3	5	1	2	3	3	4	7		6	6	6	15	21
三木市					2	2		1	1				0	3	3
多可郡		2	2	1		1	1		1				2	2	4
加古郡		1	1					2	2	1	2	3	1	5	6
姫路市	26	41	67	47	57	104	32	60	92	38	39	77	143	197	340
たつの市	4	8	12	3	4	7	6	7	13	8	4	12	21	23	44
赤穂市		5	5	3	3	6	6	6	12	2	3	5	11	17	28
赤穂郡		2	2	3	1	4	1	1	2		1	1	4	5	9
相生市		4	4	2	5	7	4	4	8	2	5	7	8	18	26
神崎郡	1	2	3	2	1	3	2	4	6	3	2	5	8	9	17
宍粟市	2	2	4	1	2	3	2	1	3	3	1	4	8	6	14
揖保郡	1	3	4	6	6	12	4	3	7	4	7	11	15	19	34
佐用郡	1		1		1	1		2	2				1	3	4
朝来市				1		1				2		2	3	0	3
豊岡市				1		1	1	1	2	1	1	2	3	2	5
養父市		2	2							1		1	1	2	3
美方郡								2	2	1	1	2	1	3	4
合 計	50	94	144	106	108	214	84	146	230	91	97	188	331	445	776

(2) 年 齡 構 成 (令和4年5月1日現在)

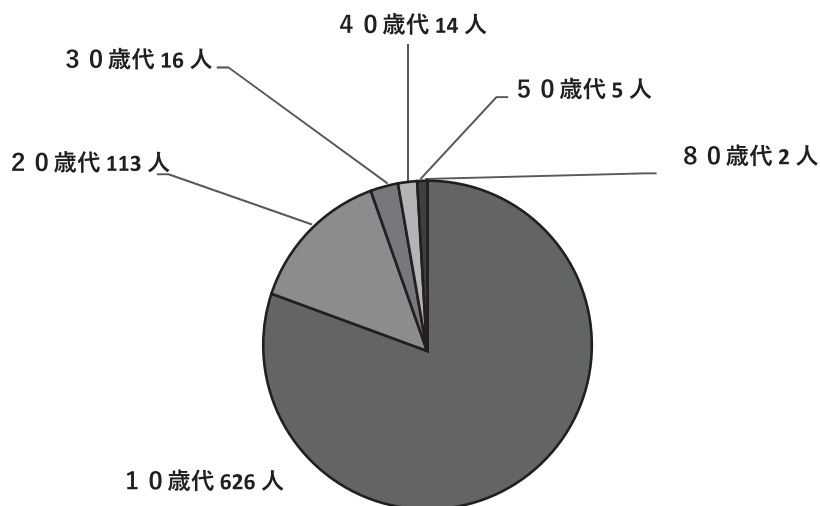
男性 合計331人 (平均年齢18.4歳)



女性 合計445人 (平均年齢 19.0歳)



合計 776人 (平均年齢 18.8歳)



3 卒業生状況

区分		卒業生数			進学者数			
回生	卒業年度	男	女	計	大 学	短期大学	専門学校	計
1	昭和57年	29	46	75	6	2	2	10
2	昭和58年	44	51	95	11	6	1	18
3	昭和59年	29	42	71	5	2	1	8
4	昭和60年	31	33	64	3	1	3	7
5	昭和61年	24	31	55	6	1	4	11
6	昭和62年	33	46	79	7	2	2	11
7	昭和63年	22	55	77	6	0	1	7
8	平成元年	34	61	95	7	5	5	17
9	平成 2 年	44	53	97	5	12	6	23
10	平成 3 年	27	58	85	9	2	11	22
11	平成 4 年	35	54	89	8	7	5	20
12	平成 5 年	33	69	102	8	5	12	25
13	平成 6 年	36	49	85	4	4	5	13
14	平成 7 年	34	67	101	6	3	9	18
15	平成 8 年	39	51	90	4	1	4	9
16	平成 9 年	46	58	104	8	8	6	22
17	平成10年	47	60	107	9	6	18	33
18	平成11年	44	74	118	10	5	18	33
19	平成12年	40	68	108	13	3	16	32
20	平成13年	58	58	116	9	5	14	28
21	平成14年	48	74	122	9	1	12	22
22	平成15年	68	83	151	5	4	18	27
23	平成16年	63	84	147	9	8	20	37
24	平成17年	49	69	118	5	3	15	23
25	平成18年	45	63	108	12	2	12	26
26	平成19年	60	82	142	5	1	13	19
27	平成20年	53	50	103	8	1	14	23
28	平成21年	38	63	101	9	3	12	24
29	平成22年	67	86	153	7	1	23	31
30	平成23年	48	76	124	11	0	18	29
31	平成24年	57	81	138	6	0	22	28
32	平成25年	46	65	111	5	0	14	19
33	平成26年	38	71	109	11	4	9	24
34	平成27年	31	68	99	8	1	16	25
35	平成28年	38	60	98	8	0	13	21
36	平成29年	40	79	119	8	1	16	25
37	平成30年	41	65	106	3	1	8	12
38	令和元年	51	66	117	22	3	19	44
39	令和 2 年	43	77	120	5	4	30	39
40	令和 3 年	61	110	171	16	0	37	53
合 計		1,714	2,556	4,270	316	118	484	918

4 令和3年度進路状況

(1) 大学・短大・専門学校の延べ合格者数

区分 \ 性別	卒業生		過年度卒		合計
	男	女	男	女	
四年制大学	6	16	0	0	22
短期大学	0	0	0	0	0
専門学校等	11	26	0	1	38
通信制大学・短大	2	3	0	0	5
合計	19	45	0	1	65

(2) 卒業生進路状況

区分 \ 性別	進学				就職		家事 無職	合計
	四大	短大	専門	通信	新規	継続		
男	5	0	13	2	4	4	33	61
女	11	0	24	3	5	8	59	110
合計	16	0	37	5	21		92	171

過去3年間の進路先

区分 \ 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
四年制大学	10	5	16
短期大学	3	4	0
専門学校等	18	30	37
通信制大学・短大	1	2	5

実 施 校

学 校 名	所在地・電話番号など	校 長 (長) 教 頭 (頭)
県立網干高等学校 (通信制課程)	〒671 - 1286 姫路市網干区新在家259 - 1 電 話 079 - 274 - 2014 F A X 079 - 271 - 2521	(長) 松 木 知 二 (頭) 吉 田 博 士

協 力 校

学 校 名	所在地・電話番号など	校 長 (長) 教 頭 (頭) 連絡指導員 (連)
県立阪神昆陽高等学校 (多部制課程)	〒664 - 0027 伊丹市池尻 7 - 108 電 話 072 - 773 - 5145 F A X 072 - 773 - 5162	(長) 沖 良 宣 (頭) 吉 田 真 治 (連) 井 上 俊 希 (連) 新 川 慶 光
県立西脇北高等学校 (多部制課程)	〒677 - 0014 西脇市郷瀬町669 - 32 電 話 0795 - 22 - 5850 F A X 0795 - 22 - 7359	(長) 三 谷 治 (頭) 笹城戸 清 司 (連) 祇 園 大 右 (連) 西 村 健 太 郎 (連) 碓 井 佑 亮
県立豊岡高等学校 (定時制課程)	〒668 - 0042 豊岡市京町12 - 91 電 話 0796 - 22 - 2113 F A X 0796 - 22 - 1107	(長) 榮 羽 勝 (頭) 田 原 めぐみ (連) 今 井 康 平 (連) 堀 貴 宗

定通併修校

学 校 名	所在地・電話番号など	校 長 (長) 教 頭 (頭)
県立阪神昆陽高等学校 (多部制課程)	〒664 - 0027 伊丹市池尻 7 - 108 電 話 072 - 773 - 5145 F A X 072 - 773 - 5162	(長) 沖 良 宣 (頭) 吉 田 真 治
県立錦城高等学校 (定時制課程)	〒673-0001 明石市明南町3-2-1 電 話 078 - 928 - 3749 F A X 078 - 928 - 3755	(長) 米 谷 繁 (頭) 平 松 はるみ
県立豊岡高等学校 (定時制課程)	〒668-0042 豊岡市京町12 - 91 電 話 0796 - 22 - 2113 F A X 0796 - 22 - 1107	(長) 榮 羽 勝 (頭) 田 原 めぐみ

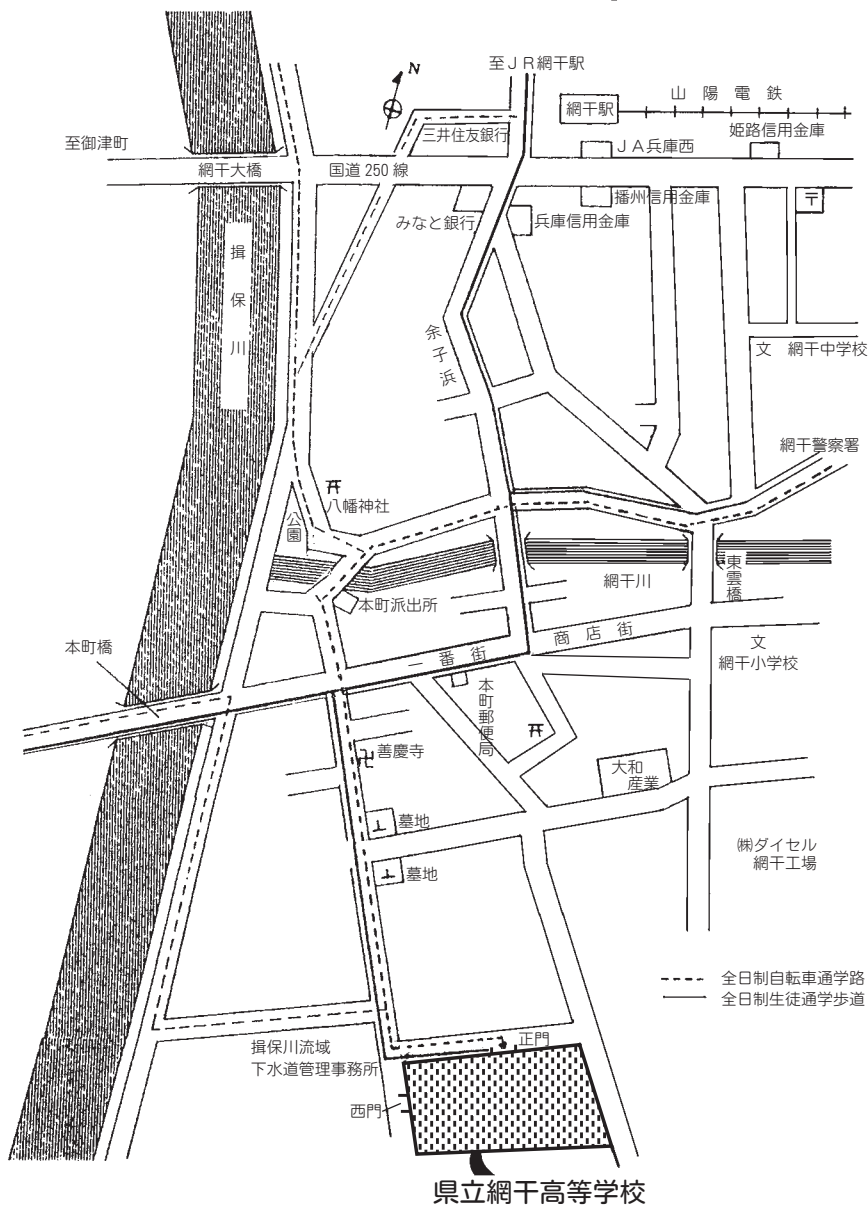
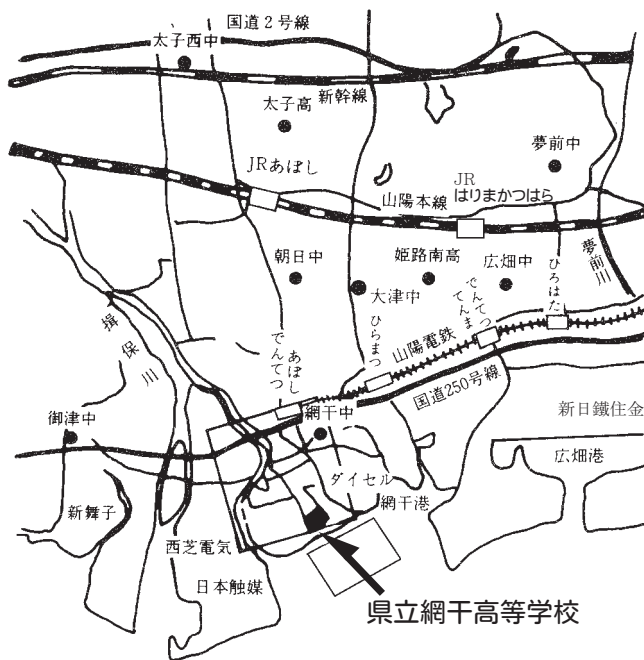
定通連携併修校

学 校 名	所在地・電話番号など	校 長 (長) 教 頭 (頭)
県立西脇北高等学校 (多部制課程)	〒677 - 0014 西脇市郷瀬町669 - 32 電 話 0795 - 22 - 5850 F A X 0795 - 22 - 7359	(長) 三 谷 治 (頭) 笹城戸 清 司
県立姫路北高等学校 (定時制課程)	〒670 - 0012 姫路市本町68 - 70 電 話 079 - 281 - 0118 F A X 079 - 281 - 0131	(長) 徳 永 和 彦 (頭) 中 尾 雅 也

教育連携協定校

学 校 名	所在地・電話番号など	校 長 (長) 副校長 (副)
県立神出学園	〒651 - 2304 神戸市西区神出町小束野30 電 話 078 - 965 - 1122 F A X 078 - 965 - 1123	(長) 宮 脇 智 子 (副) 市 川 将 人
県立山の学校	〒671 - 2515 宍粟市山崎町五十波430 - 2 電 話 0790 - 62 - 8088 F A X 0790 - 62 - 9733	(長) 田 中 裕 一 (副) 前 川 伸 也

学校附近見取図



〒671-1286 姫路市網干区新在家 2 5 9 - 1
兵庫県立網干高等学校

全日制課程

TEL (079) 274-2012 FAX (079) 274-2015

URL <http://www.hyogo-c.ed.jp/~aboshi-hs/>

通信制課程

TEL (079) 274-2014 FAX (079) 271-2521

URL <http://www.hyogo-c.ed.jp/~aboshit-hs/>